

Cosmos

The Bulletin of the Faculty of Global Communications



同志社大学グローバルコミュニケーション学部機関誌

No.4

2015年3月

cosmos ['kɒzmɒs]

—①よく秩序づけられた宇宙。思考体系。

②キク科の観葉植物。

…花言葉 「調和」

cosmo- ['kɒzməʊ]

—（接頭語） 世界や宇宙に関する。

私は一つの可能性です。

私たちは無限の可能性です。

限り無く広がる世界の中で

調和をもたらす存在に成らんことを願い

これを題名とします。

References

Oxford Dictionaries. (<http://oxforddictionaries.com/definition/cosmos>)

流希望海個自会
忙界実
道進

Cosmos

No.4

動漢

未

樂波

交

輝友

笑努空

— これらの漢字は、GCの学生たちが、
グローバル・コミュニケーションを
漢字一文字で表したものです。—

はじめに

この度はグローバル・コミュニケーション学部（以下 GC 学部と表記）発行の学部機関誌 *Cosmos* 第 4 号を手にとって頂き、誠にありがとうございます。*Cosmos* は、多くの人々に、この学部のことを知って頂くため、また、学部内の学生への情報発信を目的にスタートしました。

1875 年、校祖新島襄先生が同志社英学校を設立して以来、国際主義、自由主義、キリスト教主義の 3 つが本学の教育理念となってきました。その中で、2011 年、本学部は、英語コース、中国語コース、日本語コースの 3 コースから構成される学部として新設されました。あともう少しで、最終学年を迎えようとする私自身、今この学部での学びを振り返ると、GC 学部がまさにその創立者の思いを受け継いでいる学部だと感じています。

本学部の在学学生全員に必須の海外留学は、学生にとって、外国語の習得はもちろん、現地の大学での学び、様々な文化を持つ人たちとの交流を通して、自らを見つめなおし、その将来について考える場になっています。GC 学部では「自由な雰囲気」、「自由な学び」の空間の中、少人数制の授業が多く、先生との距離が近いことが魅力の一つになっています。学生自身が積極的に参加する授業が多数あり、自分の意見を自由に発信する機会が常に用意されています。「青春の日々にこそ、お前の創造主に心を止めよ」という聖句があります。私たち 3 回生は、約 1 年の留学から帰国し、早くも 1 年が経過しました。時間の早さにはいつも驚かされますが、学生時代の一日一日を大切に、この貴重な時間を、仲間と過ごす喜びを常に忘れないでいたいと思います。社会に出る前に、自分の興味のあることに思う存分に挑戦できる、やりたいことを応援してくれる先生方がいる、そんな環境に身を置けることに感謝しております。

本誌では、私たち GC 学部生の学びの一部を紹介させていただいております。学年の壁を超えて、本学部の 1 - 4 回生（33 名）で、本誌作成に携わることができたことをうれしく思います。

最後になりましたが、本誌の作成、編集に携わって下さった先生方に心より感謝します。

高等教育機関の先生方、これから受験をお迎えの受験生の方に、私たちの学部での学びや、活動について、少しでも知って頂くことができれば幸いです。どうぞ最後までお楽しみ下さい。

英語コース 3 回生 河上 晴香

Cosmos 第4号

目次

報告、ニュース

自主サークル① Global Baton For Ishinomaki について	4
② Yay Go! Eigo!!	6
" 中国の友達ってどうやってつくるの？ "	
～日中交流の世界へようこそ～	8
Open Campus	12
『フェアトレード』 海外研修への参加	13
クローバー祭2014	14
29th International Youth Leadership Conference に参加して	16
セミナー・プロジェクト活動報告記	17

対談

4 回生が就職活動を後輩と語る	22
どうして GC を選んだのか	30

インタビュー

グローバル・コミュニケーション学部の	
外国人留学生に聞く「友達づくり」	36
ゼミの先生の思い	38

企画

外国語の学び方	
世界のことはをのぞいてみようー英語が全てではないー	50
～ GC 生に聞いてみた！～言語学習のコツ	72
留学 (SA) 先の街特集	74
カナダ・イギリス・北京・竹田・新田辺	

2014年度卒業研究テーマ	79
---------------	----

自主サークル

① Global Baton For Ishinomaki について

こんにちわ☺

このページでは、グローバルコミュニケーション学部メンバーが創設したサークル、Global Baton For Ishinomaki について紹介させていただきます！

本サークルでは、同志社大学京田辺キャンパスを中心に、イギリス人、イラン人、モロッコ人、オランダ人、キプロス人、コロンビア人など各国からの留学生に日本語を教えたり、私達日本人が彼らの母国語を習ったりしています！私は、ベトナム人留学生の日本語学習のお手伝いをしています。授業を通して任意で集めた資金は、東日本大震災被災地の教育機関に寄付しており、以前の寄付金をピアノや図書等購入の費用に充てた、との嬉しいご報告も頂きました☺



活動についての情報共有やチームの意欲を高めるために、昼休みにミーティングを開催しています。11月19日には、京田辺キャンパス近くの公民館の一室をお借りし、留学生との Sushi Party を楽しみました！



本大学京田辺キャンパス、今出川キャンパス、立命館大学の衣笠キャンパスなど活動の場を拡大中！楽しく、且つ、皆様のお役に立つことの出来るように、これからも頑張ります！応援宜しくお願いします；)

☆留学生から頂いたコメントの紹介です！

・ Global Baton のメンバーでいて良かったと思うことは？

やはり、言語を学ぶ機会が得られるのが一番ですね。普段学校の授業以外で日本語を学ぶことはできないですから。いろいろな人と会うチャンスが得られるのもいいですね。お寿司パーティーなどでいろんな人と会えたのも楽しかったです。

・ Global Baton のメンバーでいて楽しかったことは？

いろんな人と会って話ができることかな。でも、恥を全く感じずに日本語を学べるのが一番楽しいことかもしれません。こういうふうに日本語を学べる場所は Global Baton だけです。

・ 他の留学生に向けてメッセージをお願いします！

Global Baton は、日本語を学ぶにあたって、間違いなくみんなの役に立つと思います。特に文法を学ぶことができるのは大きいですね。字を覚えたり書いたりすることは個人で練習することによって学ぶことができますよね。でも文法となると一人で習得するのは難しい。Global Baton の活動の中では、実際に日本人の学生と文法について学べるのでおすすめです。

Jonathan van den Berg (ジョナサン・ヴァン・デン・バーグ)
情報工学専攻 修士課程1年生

私たちの活動に興味持って頂いた方、Facebook 上、“Global Baton For Ishinomaki” ページにて、質問受け付けます！

ありがとうございました☺

(文責：河上 晴香)

Hello everyone!

This page introduces the group, “Global Baton for Ishinomaki,” which is a society created by GC students. In this society, we teach our languages to each other, for example, we teach Japanese to international students, or they teach their own languages to us. So far, we have various nationalities, for example, British, Iranian, Moroccan, Dutch, Cyprian, and Colombian. We mainly have our activities at Kyotanabe Campus. I personally have Japanese lessons with a Vietnamese student. We ask for donations in every lesson, and those donations are sent to an educational organization in Ishinomaki, which was seriously damaged by the Earthquake. The money we have collected so far has been used for purchasing small pianos and books! Our members are really pleased that our society has been able to help others.



In order to share the information and encourage the society members, we have meetings about twice a month. In addition, as Jonathan mentions below, we had a sushi party at the community centre at Kyotanabe, renting the kitchen space on the 9th of November.



Our activity is expanding to Imadegawa Campus, and Ritsumeikan University! We'd like to make our activity fun and helpful for everyone :)

Here is a comment from Jonathan, who is the longest supporter of our society!



The interview with Jonathan

- How do you think about being a member of Global Baton?

In this group, we can have the opportunity to learn languages and it's the only opportunity for me to learn Japanese outside of Japanese class. We can also have fun with other people, for example making sushi.

- What was the most enjoyable event for you?

Talking with many people could be the greatest. But it's also fun to learn Japanese without feeling embarrassed. It is only in Global Baton where we can have such opportunity.

- Can you give a message for other international students?

Global Baton is absolutely useful to learn Japanese, especially grammar. We can learn writing by practicing by ourselves, but when it comes to grammar, it's really difficult to understand on our own. In Global Baton, I have a chance to learn more about grammar structures with Japanese students.

Jonathan van den Berg (1st year of master course of Information and Computer Science)



If you want to contact us, please search ‘Global Baton for Ishinomaki’ on Facebook.

Thank you.

(Translated by Karen Hiroe)

② Yay Go! Eigo!!

Yay Go! Eigo!! とは英語力維持・向上を目的に GC 学部生主体で始めたアクティビティで、英語での会話やディスカッション、ディベート、さらにはハロウィーンパーティなども行っています。現4年生が留学を終え帰国し3回生になったときに、4名で始めた Yay Go! Eigo!! も、かれこれ2年近く活動していて、現在では1年生から4年生まで全学年から数名が私たち企画・運営側に加わってくれ、12名で運営を行っています。

実際は、GC 学部の英語コースの学生だけでなく、中国語コースや日本語コースの学生が来てくれたり、他学部の留学生や日本人学生が参加してくれたり、コースや学部、国籍を越えて、英語を通して新しい人と交流できる場になっています。具体的には、香柏館1階の GC 自習室で週に1～2回、各1時間ほど行っています。時期によっては、たくさんの GC 生や留学生が参加してくれ、トピックを決め、それについてレベルの高いディスカッションを繰り広げるときもあれば、テスト前や寒すぎる日などみんながあまり来られないときは、少人数で和やかな雰囲気にも包まれながら、世間話を英語ですて楽しんでいます。参加者の中には、いつも冗談でその場を盛り上げてくれる人や英語でのユーモアがわかる人が非常に多く、絶えず笑が起こっています。英語初心者でも気軽に参加し、ネイティブや英語が流暢な人とも会話を楽しめるような雰囲気で行っています。



私が卒業してからも、この Yay Go! Eigo!! がさらに良いものとなりながら、より多くの人が参加してくれ、より活気あるものになり、一生続いて行ってくれることを願うばかりです！そのためにも、こういったアクティビティを行い続けるのは難しいですが、後輩にはぜひ頑張って続けて行ってほしいです！



←ちなみにこの QR が私たち Yay Go! Eigo!! の Facebook ページです！もし興味があれば、ぜひ一度訪れてください！

(文責：菅井 翼)

Yay Go! Eigo!! is an activity that GC students created to keep and improve our English abilities. We have conversations, discussions and debate in English and we have also Halloween parties, etc. Four of the current 4th-year students began this activity when we became 3rd-year students after coming back to Japan from Study Abroad in our second year. It has been nearly 2 years since we started this, and now, we have about 12 members from each year to run this.

Not only students in the English course of GC, but students in the Chinese course and the Japanese course and international students and Japanese students who study in other faculties also come to join our activities and make new friends through English. Our activities are for 1 hour, 1 to 2 times every week at the GC studying room on the ground floor of Kohaku-kan building. Depending on the season, we have many people coming to our activities and have good discussions on topics we decide. When people are too busy with exams or it is too cold to come, we have only a few people and enjoy small talks in a relaxing atmosphere. People who join us make great jokes and understand humour in English, and thus, there is always laughter. We create an atmosphere that even beginners can join us and enjoy having conversations with English native speakers and Japanese people who speak fluent English.



I hope Yay Go! Eigo!! goes on forever, getting better and better and having more and more people joining. Although doing this kind of activities is very hard, I hope our *kohai* continue to support this group and carry on doing a great job on this.



← By the way, This is a QR code which leads to Yay Go! Eigo!!'s Facebook page. Please have a look at our page, if you have got interested!

(Tsubasa Sugai)

中国の友違ってどうやってつくるの??

～日中交流の世界へようこそ～

第二外国語で中国語を学んでいる人、中国や台湾に興味がある人、むしろ中国なんて嫌いだと思っている人、すべての人に朗報です。中国・台湾の友達が出来れば、きっと何かが変わるはず。中国語力がアップするかも？あるいは中国に対するイメージが変わるかも？このページでは、中国や台湾の友達ができちゃう場所を紹介しちゃいます！

日中会話クラブ

初めまして、日中会話クラブです。

私たちは、毎週水曜に今出川キャンパスの良心館で集まって、テーマトークやゲームを通して会話練習をしています。学部生にも留学生にも練習になるよう、日本語も中国語も両方使います。

日々の活動以外にも、休みの日にみんなで遊びに行ったり、食事会を開いたりしています。最近はお茶のレクチャーをしたり、みかん狩りに行ったりしました。

このサークル設立当初の目的は会話力の向上、留学から帰ってきた日本人の会話力の維持というものでしたが、今この会が果たしている一番の役割は、日本人と中国・台湾からの留学生との、数少ない交流の窓口としての役割だと思っています。

日中関係がなんとなく冷え込み、中国や中国系の人に対する、なんとなく悪いイメージ。そのようなものを、このような交流活動を通して友達《朋友》を作ることで少しずつですがなくしていけたらな…なんてことも考えています。



日々の活動の様子

《連絡先》

グローバル地域文化学部

檜垣 柚（ひがきゆず）

d_yluv@yahoo.co.jp



日中会話クラブ× freebird で鴨川ピクニック

日中学生交流団体 freebird



初めまして、日中学生交流団体 freebird です。

私たちは、“日中相互理解の場を提供する”事をモットーとした団体です。現在は、立命館大学の学生を中心に、同志社大学や龍谷大学といった関西の様々な大学生が活動に参加しています。団体では、旅行や料理大会といった日中の学生が気軽に参加できるような企画を考え、運営しています。また、メンバーには留学に関心がある人が多く、留学に関する情報交換の場となっています。メンバーの半数が中国人留学生ということもあり、中国語力向上の場として利用している人もいます。

freebirdの最大の魅力は、同じ志を持つ仲間が関西以外にもいることです。日本国内では関東に、そして中国国内には北京、上海に支部があり、年に一度全支部が集まってイベントを開催するなどしています。このように、“日中交流”を本格的に体感できたり、また留学の際は各支部が連携し、留学生をサポートするといった活動も充実しています。

大学でしかできないことをしたい、学生生活最後に何か思い出を作りたい、きっかけは何でも構いません。現在は毎週土曜または日曜日に活動しておりますので、興味のある方は連絡お待ちしております♪

《連絡先》

濃野 司 (のうのつかさ)

freebirdkansai@gmail.com



京都学生祭典で出店



サマープログラムの一環で訪れた
神戸の南京町にて

ここからは、日中交流イベントの参加レポートです！
同志社大学には日中交流イベントがもりだくさん。
私たちが参加した交流会の様子をご紹介します！

餃子パーティ

2014年1月29日に同志社大学の留学生寮がある多々羅キャンパスで、共有キッチン借りて餃子パーティを開きました。今出川キャンパスに中国・台湾人留学生が集中していることもあって、京田辺では交流会が開かれることが多くありません。しかし実は、京田辺キャンパスにも中国・台湾人留学生はたくさんいます！そこで催されたのがこの餃子パーティ。中国の北方では、大みそかの夜に家族で餃子を包んで食べる習慣があります。2014年の春節（中国の旧正月）の時期に合わせて、同志社大学に在籍している中国人留学生と日本人学生が一緒になって餃子を包みました。味はまあまあでしたが、みんなで一緒に包んだ餃子はやっぱり格別！春節の雰囲気を感じつつ、とても楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

餃子の形が中国の昔の貨幣に似ていることから、春節の時に餃子を食べると富がもたらされるといわれています。



多々羅キャンパスにて

第15回中国大学生《走近日企・感受日本》訪日団との交流

2014年11月26日に第15回《走近日企・感受日本》の一環として、北京大学、北京建築大学、北京理工大学、中央伝媒大学から30数名の学生が本学を来訪し、同志社からも約20名の学生が参加しました。中国人学生と日本人学生でいくつかのグループに分かれ、校内散策、グループ討論をしました。ちょうど EVE 祭初日であったので、中国人学生に日本の学祭を体験して貰い、一緒に学祭を楽しみました。またグループ討論では、グループごとにテーマを決め、ディスカッションし、最後に全体に向けて発表しました。テーマは主に恋愛観や学校生活の相違についてで、様々な意見が出て白熱したディスカッションとなりました。グループ討論終了後、寒梅館でパーティを開き交流を深めました。本学の村田学長にもお越しいたいで、より一層盛り上がりました。

今回のイベントを通して、日本人と中国人の考え方の違いを知ると同時に、多くの部分で共通しているということも発見しました。さらに中国人の友達を作ることでもできて、今でも連絡を取り合うほど仲良くなり、本当に収穫がいっぱいで充実した1日でした。毎年開催されているイベントで、生の中国語に触れることができるいい機会なのでぜひ参加してみてください！きっと新たな発見、新たな出会いがあります！

これから留学に行く人は、出発前に中国人の友達を作っておくことをおすすめします！留学先でも旅行先でも、楽しみが倍增すること間違いなし♪



ここで紹介したものはほんの一部です。自分で探してどんどん中国や台湾の友人を見つけてくださいね！

(文責：鍵山 裕香、松田 大輔)

Open Campus

オープンキャンパス

2014年7月最終週には京田辺キャンパスで、8月の第一週には今出川キャンパスでオープンキャンパスが行われました。グローバル・コミュニケーション学部（以下 GC）では先生方からの学部説明に加えて、在学生による学部の紹介を行いました。私たちの学部も創設4年目となり、今年は初めて全学年が揃う記念すべき年となりました。学生運営スタッフは当日に向けて春からプレゼンテーション原稿を作成したり、当日は学部の自習室に個別相談ブースを設置したりと、受験生に GC 学部をより知っていただくために様々な工夫を凝らしました。当日は全国からたくさんの方にご来場いただき、学生スタッフの中には緊張していたメンバーもいましたが、全力を出し切って学部の魅力をお伝えできたのではないかと思います。

受験生や保護者の多くの方が1年間の留学に関心を寄せておられ、実際に留学してきた学生の声を聞けるのは貴重だと言っていました。また私たちも、GC を受験したい人は将来的に海外で活躍したい人が多いのだと感じました。学年やコースを越えて集まったメンバーが一丸となってオープンキャンパスを作り上げていくのには難しい点もありましたが、一人ひとりが責任と当事者意識を持って主体的に取り組むことができ、納得のいくオープンキャンパスとなりました。スタッフメンバー同士もお互いから学ぶことが多く、とてもいい経験になりました。また、学外の方に学部の紹介をすることで私たち自身も GC 学部の素晴らしさを再確認することができ、より一層この学部が大好きになりました。教授と学生の距離が近くアットホームな雰囲気、学生皆が感化しあいながらそれぞれの目標に向かって一生懸命な学部だということを受験生にお伝えできたなら幸いです。まだまだ歴史は浅い学部ですが、これからもこの学生企画が長く続いていけば良いなと思います。

（文責：廣山 夏帆、門澤 愛、鎌田 峻介、国重 浩希）



『フェアトレード』 海外研修への参加

この言葉を聞いてみなさんは何を思い浮かべますか？私たちは、この聞き慣れない新しい言葉をみなさんにとってより身近なものにしようとセミナープロジェクトを通して一生懸命に取り組んでいます。公平な貿易。それがいったい何なのか。それを学びに9月9日から18日の10日間、フィリピンのセブ島まで行ってきました。

そもそもフェアトレード（以下F T）とは、買い物を通して『生産者と消費者の立場を平等にする』というものです。グローバル化が進む今、先進国にあるほとんどのモノが人件費の安い発展途上の国々で生産されています。その生産者たちは、遠く離れた私たち消費者の「安さ」へのニーズを満たすために劣悪な環境で働いており、特にその犠牲になっているのが立場の弱い子供や女性たちなのです。この現状を是正／フェアにしようとするのがF Tというものです。F T認証された商品は、生産者の労働環境や最低賃金の保障、技術力の提供を受けた生産者が作ったものであるため、私たち消費者は、そのF T商品を買う事によって間接的にF Tに参加することができます。これが、買い物を通じた世界貢献、フェアトレードなのです。「買い物を通して、先進国の消費者だけではなく途上国の生産者にも光を当てること」（同志社大学公認サークルSee-Saw）とも言うことができます。



セブ島では、現地でF Tをされている株式会社K a p u w a代表、丸野透さんの協力の下、座学・生産者訪問・F T商品の買い付けの主に3つのことに取り組みました。ここでは特に、生産者訪問について紹介したいと思います。



私たちは、セブ島中部にあるタリサイ市のタンケ地区で活動されているベレンさんを訪問しました。ベレンさんは、家族で貝殻アクセサリーを生産しており、それをF T商品として日本に輸出しています。F Tを始める前は、いくら良い商品を作ったとしても「完成度が低い」、「頼んだもの（想像）と違う」という理由から、仲買人や業者に買い叩かれることが多く、苦しい生活を送っていました。しかし、F T認証を受けるには「労働環境のチェック」や「料金の前払い」、「最低賃金の保証」などの条件を満たす必要があるため、その開始後は、目に見えて生活が改善したと語っていました。例えば、写真（上）は工房スペースも狭く、機械の刃もむき出しですが、F T開始後の生活（写真下）ではスペースも拡張され、さらに電気を設置できたことでより安全に夜間にも生産ができるようになりました。研修の最後に「正直、F Tの仕組みは詳しくは分からないが、F Tが生産者の生活を変えることは実感している。消費者のための生産者ではなく、お互いの貿易がお互いの生活を改善させているのはすばらしいことだ」と語ったベレンさんの笑顔がとても印象に残りました。

今回のセブ島訪問を通じて、物事の「仕組み」だけではなく、それを「実際に見てみること」が大切であると私は強く感じました。私たちがF Tをすることで生産者の生活が大きく変わるわけではありません。しかし、小さい変化を継続して積み重ねていくからこそ、最後には大きな変化を生むことができます。その思いからはじめたフェアトレードは、生産者の現状を目にしたことで、その目的・意義を自分の考えに落とし込めることができました。G C学部で得た語学力や自分の目で見て考えるという力をこのスタディーツアーで十分に発揮できたと私は考えています。

（文責：大川 貴弘）

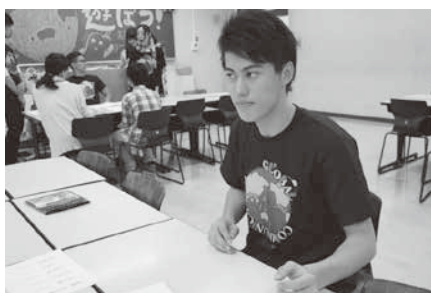
クローバー祭 2014

今年も同志社大学クローバー祭2014において、私たち GC 学部が二つの企画、「外国語で遊ぼう!」と「SA 私のベストショット」を11/1日(土)・2(日)の2日間行いました。

外国語で遊ぼう!

「外国語で遊ぼう!」は今年で3回目になり、英語・中国語・ドイツ語・フランス語の4言語で行いました。2つのセッションに区切り、一方では各言語の簡単な挨拶、数字、自己紹介を来場者の方に学んでいただいたり、きらきら星やハッピーバースデーの歌と一緒に歌ったりし、もう一方では、カフェをコンセプトに、各言語でコーヒーやサンドウィッチ、ケーキといった食べ物や飲み物の注文の仕方を練習していただきました。3回生中心で進めていきましたが、歌が上手いメンバーが多く、来場者を魅了するほどの歌声を教室中に響かせていました。

去年は1日だけの企画でしたが、準備に費やしたエネルギーや時間を思うと、非常に短く残念な気がしました。そこで今年は2日間決行することにいたしました。2階の隔離された場所に教室が割り当てられたことや雨の影響もあり、1日目はなかなか来場者がありませんでしたが、2日目にはもちなおし、終わってみれば2日間合計で100名ほどの来場者がありました。大人も子供もみなさん楽しそうに外国語を学んで歌ってくださっていました。



SA私のベストショット

「SA私のベストショット」では去年同様、留学から帰国したばかりの英語コース・中

国語コースの3回生と日本語コースの3回生が留学中に撮影した写真にタイトルなどをつけ、写真展を開きました。100枚ほどの写真が集まり、美しい写真や決定的な瞬間をとらえたおもしろい写真など、どれも個性的で、すばらしい写真展となりました。さらにビューティフル部門・スマイル部門・おもしろ部門の3部門に分け、来場者の方に投票していただきました。今年はなんと、2日間合計で212名の方に投票していただきました。後日、各部門上位三位の入賞者を対象に授賞式が行われ、それぞれの入賞者が学部長から入賞賞品を授与されました。受賞者は喜びの笑みをこぼしていました。

私が卒業する来年以降も、これらの企画が毎年、パワーアップしながら永遠に続くことを願っています！

(文責：菅井 翼)



29th International Youth Leadership Conference に参加して

私たちグローバル・コミュニケーション学部英語コースでは、コミュニケーションパフォーマンスという授業を1年次と3年次で受講します。1年次では英語力の強化を目指し、3年次では、2年次の留学を通して培った英語力を用いて、4クラスの中から自分の興味にあった内容を英語で勉強します。私たちの受講しているマリー・トーステン教授のクラスでは、一年間を通して、国境や移住問題、国際機関や国際関係について学びました。私たちは今回トーステン教授から、プラハでの約一週間の国際会議（29th International Youth Leadership Conference）に参加する機会をいただきました。この会議は将来、若者がリーダーとして国際社会に参加することを目的としており、私たちは国連安全保障理事会や国際刑事裁判所のシミュレーションを体験し、パキスタン、イラクの大使館を訪問し、様々な背景を持った参加者のスピーチを拝聴することができました。アメリカやフランスだけでなく、プエルトリコやアラブ首長国連邦などおよそ20か国からの参加者とともに課題をこなしていくだけでなく、彼らと経験や文化を共有し、つながりを持つこともできました。会議中は英語で専門的情報を瞬時に理解することが求められる等、困難もありましたが、トーステン教授の授業で得た知識をもとに乗り越え、積極的に参加することができました。知識が豊かになっただけでなく、国籍を超えたかけがのない仲間も得ることができました。皆さんも是非グローバル・コミュニケーション学部で身につけた確かな英語力や経験・知識を、本当の意味でグローバル・コミュニケーションができる貴重な場で発揮してみませんか？

（文責：井手 遥、沼田 彩）



～セミナー・プロジェクト活動報告記～

セミナー・プロジェクトとは、グローバル・コミュニケーション学部（以下 GC）の英語・中国語・日本語の3コース4回生の学生が協力して、7つのプロジェクトを企画・立案・運営する、4年間の学びの集大成ともいえる GC 学部の目玉プログラムです！個々の留学経験を生かして、学生が主体となってプロジェクトを遂行することで、社会で通用する実践的なコミュニケーション能力を磨くことを目標としています。それでは、一期生が一年間どんなプロジェクトを作り上げてきたのか、ご紹介したいと思います！

1. 遊びでつなぐ世界の輪

(1) 目的・目標

遊びを通じて世界を知ってもらう＝遊びを通じた国際理解。

(2) やっていること

精華西中学校にて貿易ゲーム、英語ゲーム、世界アート展、世界国旗かるたなど多彩なゲームを考案し、実施。目玉企画は、12月6日の公開授業（参観日）で全校生徒に向けての国際理解をテーマに授業をすること。その際に行った貿易ゲームでは、ゲーム内で扱う物や製品をしっかりと各国々の特産物にしたり、最初に与えられるアイテムを不平等にしたりすることでリアルな物やお金の流れを体験してもらった。

(3) 苦労したこと

＜遊びと学びの境界線＞

中学生に対して「遊び」を通して世界に目を向けてもらうことが大変。多感な時期の生徒達に、ただの「遊び」ではなく「遊びを通じた国際理解」を感じてもらうことが大変だった。学年によってゲーム内容やレベルを変え、最後にしっかりとまとめをすることで、生徒達の意識が自然と遊びから国際理解につながるよう誘導した。



2. 世界横断 EXPO

(1) 目的・目標

グローバル化した世界における「ヒト」「モノ」の動きを小学生にわかりやすく伝え、私たちの生活と深く関わっている国の言語・文化をスライドやゲーム、展示等を通して体感してもらうこと。

(2) 活動内容、目玉企画

春、秋学期各一回の東光小学校での国際理解授業、展示、ビデオレター、「せかいはともだち」新聞の発行、Tシャツ作成など。目玉企画は、GC 学部生12人で全校児童666人を対象に行う国際理解の授業。低・中・高学年各4人のチームに分かれ、小学校の先生と頻繁に相談しつつスライドを作成、発表した。



(3) 苦労したこと

＜秋学期に行った、6年生（113人）向けの授業で遭遇した思わぬ失敗＞

授業の一環で“Red light, Green light（アメリカ版の「だるまさんが転んだ」）”、「ヘビ鬼ごっこ」の2つのゲームを行ったときに、6年生が自分たちの予想通りに動いてくれなかった。初対面で、しかも世代や価値観が異なる人たちとのコミュニケーションの難しさを感じた。

例えば、“Red light, Green light”では、鬼が叫ぶ‘red light’, ‘green light’が「赤信号」「青信号」を意味すると理解できないまま、ルールを間違えて遊ぶ子どもが続出した。「ヘビ鬼ごっこ」は元々鬼に捕まった人がどんどんヘビのように手をつないでいくもの。男女混合で仲良く手をつないで遊んでくれるものと思っていたが、実際は男子だけ、女子だけで固まってしまい、ゲームがちゃんと成り立たなくなってしまった。

3. Seika-cho Global Project with GC students @ 精華台小学校

(1) 目的・目標

外国語が必修となっている小学校5、6年に対してより外国や外国語に興味を持ってもらうこと。

(2) やっていること

外国語（英語・中国語・韓国語）を使ったアクティビティー（世界旅行）を実施。小学校5、6年生に海外を疑似体験してもらうことが目的。目玉企画は、春夏1回行われる「世界旅行 in 精華町」。例えば、中国のチームは中国へのバーチャル旅行を企画し、中国語を話せなくてもジェスチャーで会話できることを伝えたり、生きた外国語（英語・中国）をシチュエーション別に試すことでリアルな外国語の世界を体感してもらった。



(3) 苦労したこと

＜外国語＝英語だけではない！＞

「外国語＝英語」だけではないということを伝えること。そのために、粘り強く先生方と交渉し、「英語だけではではない」ということを積極的に共有した。たとえば、世界旅行企画で中国語や韓国文化を取り入れたアクティビティーを行うことができた。その結果、先生方だけでなく、小学生にも「グローバル＝英語だけではない」ということを伝えることができた。

4. Fair Trade で身近にできる世界貢献

(1) 目的・目標

フェアトレード（以下F T）を学び、自分たちで発信してその認知度を高めること。
目標は、F T 認知度 100%

(2) やっていること

ココナッツオイル、チョコバナナ、コーヒーの3つに分かれてそれぞれ活動。認知度を高めるために、カフェや小学校とのコラボレーション、EVE 祭への出店を行った。EVE 祭では、実際にフィリピンで現地視察・買い付けしたものを販売し、フェアトレードの現実を体感した。1 番の目玉企画は、同志社小学校でのチャレンジウィーク（学習発表会）における5年生とのコラボレーション。絵本作り、創作劇、実演販売を全23時間かけて実施。

(3) 苦労したこと

＜目に見えない大きさ＞

F T の規模が大きすぎるため、限られた1年間でどこまでできるか、なにが正解かを目に見える形で把握するのが難しかった。そのため、春学期に他のF T 団体から学んだ事をどう具体的な活動に落とし込んで行くかが課題であり、壮大なテーマを自分たちのものにするのに特に苦労した。



5. 「あなたのお店、グローバル化しませんか？」

(1) 目的・目標

京都にいる外国人観光客、お店の方、留学を体験した GC の生徒、プロジェクトに関わる全ての人にとって有益な、Win-Win-Win の関係を確立すること。

(2) やっていること

京都にいる外国人観光客の為に、3班に別れて活動した。小売班では、お店の商品とその説明、HP の英中訳など、宿泊班では、日本文化や宿舎内設備の説明や周辺地図の作成、また、飲食班では、メニューの英中訳も行った。

(3) 苦労したこと

活動に協力してくれるお店、宿や飲食店の方の同意を得ること。また、お店の方と相談し、お客様のニーズを把握した上で、作業を進めることの難しさも実感した。



6. 世界中の人々と作る京都

(1) 目的・目標

より多くの外国人観光客に京都に観光に来てもらうこと。

(2) 活動内容、目玉企画

1,200枚もの写真を使ったモザイクアートと、外国人観光客が知りたいと思っている情報を掲載した冊子の作成。目玉企画はなんといってもモザイクアート。元々外国人のひと、自分で言えば中国語を使ってコミュニケーションをとりたくてこの企画を作ったようなものだから、日本に来てくれるだけでも嬉しいのに、こうやって京都の色々な観光地に来てくれた外国人旅行者とたくさん話せたのが本当に楽しかった。



(3) 苦勞したこと

普段関わることのこないような、外部のひとと連絡を取る際のメールの書き方や敬語の使い方、そして見積書の作成です。メールを読む相手、電話の相手、見積もり書を読む相手と、相手の立場に立って物事を考えることの大切さに気づけました。EVE 祭で良心館に縦3m 横4m の巨大モザイクアートを展示した時に、今まで何度も何度も壁にぶちあたったけど、自分の頭の中でやりたいとぼんやり考えたことがメンバー、そして1200人の外国人観光客というたくさんの人々の協力があってこれができたんだなあ〜って実感して、なんだか「うるっ」ときました。

7. 留学生支援

(1) 目的・目標

日本に來ている留學生がより有意義な留學生活を送れるように支援すること。

(2) 活動内容、目玉企画

交流、語学、生活の3つの班に分かれて活動中。ランゲージパートナーの紹介や、同志社ガイドブックの作成など。目玉企画は留學生対象のフリーマーケット。

(3) 苦勞したこと

同志社大學に來ている留學生の大半が今出川キャンパスにいるため、イメージしづらく、企画や広報も思うように進まず、大変だった。フリーマーケットでは留學生はもちろん日本人の方にも喜んで頂けて、もし来年もやるなら協力したいと申し出てくださる方もいたのが嬉しく、印象的だった。



1月19日に行われた最終成果報告会では、以上の7チームが1年間の成果を発表しました。投票の結果、「世界中の人々と作る京都」が最優秀賞、「あなたのお店、グローバル化しませんか?」、「Fair Trade で身近にできる世界貢献」がそれぞれ優秀賞、敢闘賞を受賞しました。また、1月24日には関係者や父兄を招いて今出川キャンパス良心館で「2014年度セミナー・プロジェクト成果発表会」を開催しました。それぞれの個性が光る素敵な時間となりました！

皆さん、楽しんで頂けましたでしょうか？

GC 学部では、2015年、二期生が取り組むプロジェクト内容も決定し、「世界のことを考えよう—国際理解教育プロジェクト」、「外国語活動と留学経験の語りを通して留学の素晴らしさを伝えよう」、「大学生ならではの地球の歩き方！」など新たなプロジェクトも加わる予定です。次号の *Cosmos* にて、活動報告させていただきます！

ありがとうございました：)

(文責：河上 晴香、鍵山 裕香、大川 貴弘)

対談

4回生が就職活動を後輩と語る

このコーナーでは、「4回生が就職活動を後輩と語る」というテーマに基づき、英語コース・中国語コースの4回生・3回生から6人をお招きし、対談をしていただきました。グローバル・コミュニケーション学部として学部を引っ張ってこられた先輩方に、どのように就職活動を乗り越えてきたのか、就職活動を経て何か変化したことはあるか等々、就職活動全般に関する様々な疑問にお答えいただきました。それぞれの先輩方がユニークな経験をされていて、また、3回生からは鋭い質問も飛んでいるので、非常に興味深い内容となっています。是非、お楽しみください！

山元 恵梨奈

出席者

司会	門澤 愛（4回生）
コーディネーター	山元 恵梨奈（3回生）
英語コース	高井 大智（4回生）
	千田 有沙（4回生）
	中川 彩萌（3回生）
	沼田 彩（3回生）
中国語コース	石井 理央（4回生）
	岡本 駿平（3回生）



門澤（以下 門）：最初に皆さんにお名前と学年とコースを教えてくださいたいと思います。

千田（以下 千）：英語コース4回生の千田有沙です、（就職先の）会社はJALスカイでグランドスタッフをします。

高井（以下 高）：英語コース高井大智です。三井住友銀行の法人営業に入ることになりました。よろしくお願いします。

石井（以下 石）：中国語コース4回生の石井理央です。内定先は電子部品メーカーのアルプス電気です。

門：それでは3回生の方お願いします。

沼田（以下 沼）：英語コース3回生の沼田彩と申します。陸上部に所属しています、よろしくお願いします。

中川（以下 中）：英語コース3回生の中川綾萌です。

岡本（以下 岡）：中国語コース3回生の岡本です。

門：英語コース4回生の門澤愛です、内定先は本田技研工業です。仕事内容は未定ですが海外営業を志望しています。

それでは最初の質問に移りたいと思います。

4回生にお聞きします、1回生の時から就活や将来のことを意識して何かしていたか、またはしておいた方がよいことはあるでしょうか。



千：私は1回生の時からC Aになりたかったので、接客業がしたいと思い、カフェでアルバイトを始めました。でもあまり就活としては意識していませんでした。

高：あまり就活に対しては意識していませんでした。ただ漠然と外国に関わる仕事がしたいなと考えていました。

石：1回生のときから大きな団体の幹部として活動したく、150人ほどのオーケストラに所属していました。

高：オーケストラすごいですね。

門：幹部をやっていたことがなにか就活に役立ちましたか？

石：3回生の時は広報の仕事をしていて、1000人規模のホールでの公演の際に、活動の甲斐あって満席に導いたことを就活の面接の場で話しました。

門：確かにアルバイトや学部外の活動も就活に役立つかもしれませんね。

私は就活に向けてという意識はなかったのですが、毎日手帳にその日の出来事や自分の感情の移り変わりなど書いていました。結果としてこれが自己分析につながりましたね。

中：4年間つけていたのですか？

門：はい、1回生の時から就活という意識なくつけていたし、今もつけていますよ。

3回生の皆さんは就活に向けて（だけでなくても）、何か頑張っていることはありますか？

岡：僕は5年間で英語も中国語も両方喋れるようになりたいと思っていたので、来年は休学して就活はしないです。

門：1年勉強して、そののちに就活するということですか？

岡：そのつもりですね。

中：就活を特に意識しているというわけではないのですが、就活に慣れる為にもインターンシップに参加していますね。

沼：私は部活をしていて、週6日陸上をしているので、就活に対しての情報を得る機会が少ないです。

一同：週6で部活ですか？！

沼：そうですね。私も航空関係を希望していて、どうしたら情報を得られるかって考えて、今はダブルスクールをしていますね。

門：千田さんはダブルスクールをしていましたか？

千：私は行っていませんでしたね。内定者の中には行っている子も行っていない子もいます。

沼：私の場合は情報収集の手段としてスクールを利用していますね。



門：なるほど。4回生は去年の今日（12月1日）に本格的に就職活動が始まりましたが、**ストレス発散はどうやって行っていましたか。**

石：その時はオーケストラも休んでいたんで、カフェめぐりなどをしていましたね

一同：おしゃれ～！（笑）

4回生：確かに美味しいものは大切。

高：僕の場合は下宿生で声をかけたらすぐに集まれるので、友達同士でご飯を食べて、ストレス発散していましたね。

沼：やはりストレスは溜まりましたか？

高：就活のストレスが溜まっていたということは特に無かったですね。落ちたとか通らなかったというのをあまり深刻に考えていなくて、「あー落ちたのか」といった気持ちで受け止めていましたね。

門：10個エントリーして3個受かったときに、7個も落ちたのかと考えるのか3個も受かったのかと考えるのでは気持ちが違うと思うんです。だから辛い人は辛いかもしれないんですけど、私もストレスはなかったですね。

千：私は夢がはっきりしていた分、他の人と就活も少し違っていたので、自分との闘いでしたね。すべて自分次第でした。

門：不安ではなかったですか？

千：常に不安との闘いです（笑）。私は周りの人に目標を宣言して自分を追い込むタイプでした。

門：航空業界を目指している人が多いというのは聞きますね。

千：CA、グランドスタッフ含め多いと思います。

門：私の場合は色々な分野の会社を受けていく中で決めようと考えていたので、目標が1つである方とは違っていただかもしれませんね。アルバイトも週3、4でしていたので普段と変わらない生活でした。**3回生の皆さんは忙しくなるだろうなといった心配はありますか。**

中：8月から始まるので、季節的にスーツは暑いだろうなと思いますね。なおかつ、4月から就活も授業も忙しくなるのは心配ですね。授業の組み方も考えないといけないですし。特にGCは留学期間にとれる単位が限られているので3回生の間も授業が比較的多いですね。

岡：なんとかなるだろうと思いますけどね。

高：そういうタイプの方が成功すると思いますけどね。

門：就職先が決まった4回生の皆さんはGCでの学びがどう仕事に生かされると思いますか。

千：やはり空港は外国の方と話す機会が多いので、語学力がそのまま役に立つと思います。

高：今内定先から英会話の教材が届いていて、英語の勉強もしていますね。あとは就職2、3年目から海外にも行けるので、それは行きたいと思いますね。

門：何か海外の人と仕事する予定はありますか？

石：海外売上が8割を占めているので、いつ行けるかはわかりませんが、海外でお仕事できればといった感じです。アジアを相手にお仕事もするので、そういったときに即戦力になればと思います。

門：面接のときに中国への留学経験や、中国語が話せるというアピールはしましたか。

石：しましたね。

門：留学などの経験も将来生かされるかもしれないですね。3回生の皆さんは海外に関連する仕事に就きたいという気持ちはありますか。

沼：すぐに海外に出たいとは思わないですが、将来的に日本、海外問わず仕事ができる職場に身をおきたいですね。

門：岡本君は中国語と英語を身に着けたいとのことですが、それを生かしてつきたい職業などありますか。



岡：特に就職の為に語学を身につけたいというわけではなくて、ただ単純に英語も中国語も喋れるようになりたいんですけど、それが結果として就活にもつながればとは思いますがね。やっぱり楽しく仕事をしたいので、就活しながら楽しそうなことを探したいですね。

門：将来の夢や働くことに対してのイメージについて尋ねたいのですが、3回生の皆さんはどうですか。

中：必ずしも自分の行きたいところに行けるわけではないので、自分の希望通りの就職先につけなかったときはどうなるかなと思います。

沼：「働く」という漢字の意味は人を動かす、違った角度で考えると^{はた}傍を楽にするという意味だと考えました。誰かのために私も貢献したいと思っています。

門：それでは4回生の皆さんは1年前と今とで仕事に対するイメージは変わりましたか？

石：私は中国に留学して3回生の夏に帰国したのですが、そのときは就活に対する意識が低かったです。留学先の北京大学では周りの学生のレベルが高く、アカデミックな方面に興味があったので、なおさら就活に対しては後ろ向きなイメージしかありませんでした。でも、説明会などに参加しているうちに興味が湧いてきて、今はそこで働いている自分をイメージすると楽しみです。

門：そうなんですね。他の方はどうですか。

高：働くことに対してはちゃんとイメージ出来ていなくて、それは就活が終わった今も変わらないんです。説明会に参加しても、説明している側の方も自分の仕事内容しかわかっていないんですよ。結局はどうにかなるだろうとしか思わないですね。

千：最初に目指していた仕事と今決定した仕事は違うのですが、希望する就職先に挑戦できたことはすごく満足で、今は決定した仕事先で働くことに対してはとても楽しみです。

門：そうですね。内定先が決まってからは、働くことへの楽しみというのは大きくなってきていますね。あとは業界についてなのですが、**エアライン志望のお2人はどうしてエアライン業界に進もうと思ったのですか？**

千：1番は憧れというのが大きかったのですが、やはり語学が使いたかったというのが理由ですね。



沼：初めて英語に触れたオンライン英会話で、その相手の方がデルタ航空の方だったんです。その方がCAの仕事について英語で話されているのがとても印象的で、私もこういう業界で働けたらな、と思いました。

門：確かに航空業界は就活を意識していなくても、目にする機会があるので志望する人も多いのかもしれませんが、**メーカーに就職される方はどういう経緯で就職しようと思ったのですか。**

石：父が電子部品の業界で、もともと興味があったのと、留学した時に中国や韓国など新興国のパワーを実感して、日本がアジアや世界に対して高い競争力を持つ電子部品の業界に決めました。

門：私は留学したときに日本を客観視してみて、日本人として何かできることは無いかと考えていたので、元々日本のメーカーに就職ということは考えていたのですが、会社の雰囲気を見て就職を決めた部分も大きかったです。**皆さんは内定式などで内定者の方と会ってみて、何か共通していたり似ているなと感じたり、会社の雰囲気を感じたことはありましたか？**銀行などは人が多いと思うのですが。

高：本当に多いですね、1800人ぐらいです。内定式が終わったあとも集まりがあるのですが、みんな不安がっていました。

門：ちゃんと自分の人間的な部分を見て、採用してもらったなと感じる場面はありましたか？

高：それはないと思いますね（笑）。多分メーカーなど人数の少ないところとの違いだと思うんですけど、僕らに関してはまず人数が多すぎるので。僕は人事部長にすら会ってないです。

一同：へえ～！！

高：企業によっては社長が自ら面接するところもあるんですけどね。

千：私たちはやはり女子が多いので、内定式のあとにはみんな写真を撮ったり、きゃぴきゃぴした雰囲気でしたね。

沼：美人なお姉さんが集まっていて、いい匂いがしそう（笑）。

門：私のところは、メーカーは似ているかもしれないんですが、想像していたよりも男子がめちゃくちゃ多かったです。定かではないのですが、女性は1、2割くらいに感じました。**ほかのみなさんは男女比などはどのようになっていますか？**

石：メーカーなのですが、電子部品業界というのは戦後に伸びてきた業界なので、割と女性も活躍しているという雰囲気があって、実際事務系は12人中、10人が女子です。

門：同じメーカーでも業界によって違うんですね。

沼：男性の多い職場が多く、女性が活躍するのはやはり難しいのではないかと考えているのですが、女性の皆さんは不安とかはないですか？

門：迷っていた会社についての表を作って、休みが多いかどうかや女性の管理職が多いかなども考えてみたんです。そうしたらホンダはそこの中では活躍しやすい環境にはあると思うのですが…やはり女性が活躍するのは難しいところもあるかもしれません。

石：私のところは勤続年数が男女で同じで…。

一同：凄っ！！めっちゃ進んでる！！

石：なのでたぶん長く働けるかなと思います。

高：就活するときにそういうデータなどは調べたのですか？

石：調べてなかったです。ただいくつかの会社では女性があまり働きやすい環境ではないのかなといったことが、面接を通して企業の雰囲気を感じ取りわかっていきました。



門：確かに面接や説明会などに行くなかで、男女の比率や来ている学生のタイプ・社員さんのタイプも全然違うと感じました。面接や説明会の中で、そういうことも会社の判断材料にすることが大切なと個人的には思いますね。

これから就活を控えている3回生や1・2回生に向けてなのですが、4回生の皆さんは資格などはどうされていきましたか？

高：証券外務員や簿記、FPは入社前に必要ですが、就活前に取ったわけではないです。内定をもらった後に取りました。資格については特に意識していませんでした。

石：私はHSKや中国語検定ぐらいです。TOEICは受けたのですが、もっと欲しかったなーというくらいの点数で…。

千：私はただ資格の欄に書きたいという理由で接客サービスマナー検定というものを取りました(笑)。でも最終面接でようやく聞かれたくらいであんまり意味がなかったかなと思います。

高：就活前よりむしろ今の方が資格を意識していると思います。会社から資格を取れなどと指定があるので。

門：就活では**学生生活で今まで何をしてきたのか**を見られると思うので、ただ面接官の目を引くためにという理由で資格を取っても、それにまつわるエピソードがなければ意味ないのかもかもしれませんね。

高：即戦力が欲しければ中途採用しますしね。**新卒を採るのはやはり人柄を重視している**のだと思います。

石：あと中国語コース生は中国語検定などはTOEICと比べるとマイナーですし、企業の中国進出もひと段落したということもあり、少し厳しいという印象もあります。

門：それでは最後に4回生の先輩から、これから就活をする後輩に向けて何かメッセージをお願いします。

高：バイト先の先輩がおっしゃった言葉があって、「野球と違って、就活が楽なのは3割打たなくていい。**100本あったら、1本打てば就活は勝ち。99本空振りでもいいんだから**」と。これはみなさんにもメッセージとして送りたいです。

一同：名言や～(笑)。

石：1回生や2回生に向けてなのですが、就職活動が今より少し後ろ倒しになるので、**今まで以上に就活に対して意識が高いかどうか**ということが内定までにかかる時間に大きく影響する**と思います**。特にGCの場合は1年間は海外で過ごし、日本で勉強できるのは3年しかないので、早くから専門性の高い勉強をすることと、**早くから将来に対して高い意識を持って取り組んで欲しい**と思います。

一同：(拍手)

千：就活と聞くとネガティブになってしまうかとも思いますが、**他人と比べずに自分がどうしたいか**を考えて頑張ってくださいと思います。

一同：(拍手)



門：二つあって、一つは普段から何事に関しても考えて行動して欲しいと思います。考えをもって行動していれば、たとえそれが失敗に終わったとしても、ちゃんとそこに戻って訂正できるし、面接だったら自分の行動を筋を通して説明することができるので、考えて行動してほしいということです。もう一つは、周りで就活を頑張っている人がいてプレッシャーかもしれませんが、結局は**自分の意志で動いたときの就活しか身になってない**と思うので、**周りの人がやっているからという理由だけで自分を焦らせるのではなく、きちんと自分が正しいと思う情報を自分で理解して、行動する方が納得感のある就活ができるのではないかな**と思います。これで対談は終わります。ありがとうございました！



対談を通して、就職活動を終えた4回生は、それぞれ異なった就職活動をしていたのだという新しい発見がありました。また3回生は色々これからのことを真剣に考えていたり、行動に移っていて、4回生も刺激を受けました。1回生から3回生の方にも、是非この対談を読んで就職活動の不安を取り除き、また自分が将来やりたいことのイメージをしていただきたいと思います。今年G C学部でははじめて卒業生が出ます。就職活動の面接だけでなく、これから社会に出ても、G C学部の卒業生がここで学んだことに自信を持って、キャリアや様々な場面で生かしていけたら良いと思います。

門澤 愛

「どうして GC を選んだのか」

今回は英語コース2名、中国語コース3名、日本語コース2名の1回生に集ってもらい、「どうして GC を選んだのか」について対談を行いました。それぞれ様々な考えを持って GC に入学してきたと思います。そして将来について、また GC に実際入ってどうだったかなど皆考えていることが違います。今回は GC に入ったきっかけから将来のことまでを率直に話してくれました。ぜひお楽しみください！

鎌田 峻介

出席者

司会	国重 浩希
コーディネーター	金光 夏愛
英語コース	山田 明子、小林 春暁
中国語コース	鎌田 峻介、廣山 夏帆、水野 有袈
日本語コース	金 ナリン、房 夢琳

GC を知ったきっかけ

司会：まず、さっそく本題に入りたいと思います。一つ目は GC を知ったきっかけについてお話をください。

小林：高校のときは勉強をさぼってきて、元々できた国語と英語しか得意なものがなく、とにかく外国語学部、特に英語学科のところが良いと思い、大学を色々探してた中で GC を受験することにしました。

房：日本語学校にいるときに、先生から同志社の機関紙を見せていただき、そこから GC 学部を知りました。

廣山：元々外国語学部に興味がありましたが、その中でも留学できて4年間で卒業できるところを探したときに、ここの学部を知り、選びました。

言語に興味をもったのはいつごろか、またそのきっかけ

司会：みなさんは英語、日本語、中国語、どの言語においても、言語に興味があったからこの学部に来たと思いますが、その言語に興味をもったのはいつごろですか？ またそのきっかけについてお話をください。

山田：小学一年生のときに近所でアメリカ人のネイティブの先生が教えていて、そのレッスンに幼馴染と5、6人で参加するようになり、そこから興味持つようになりしました。また高校のときにアメリカに短期で留学して、ますます興味をもつようになりしました。

金： 中学2年生のとき友達から嵐を紹介してもらい、嵐の番組を見ましたが、とても面白くて、嵐の歌を聴いたり、番組を見たりし始めました。それがきっかけになって嵐よりも日本語を好きになって、高校も外国語高校に進学し、そこで3年間日本語を勉強しました。

鎌田： 僕が言語に興味を持ち始めたのは、始めは中国語ではなくて、英語から興味を持ち始めました。そして高1のときにオーストラリアに語学研修に行き、そこから言語おもしろいなって思い、何の言語って特に決まっているわけではなく、大学に行ったら言語を勉強したいなと思うようになりました。

言語を習得して何をしたいか

司会： 次に言語を習得して何をしてみたいですか？

小林： 英語を習得して話せるだけで満足するのではなく、英語をツールとして外国の人の価値観や考え方を理解したい。そして英語を使って講義を受けることで、違う視点からものを捉えることができるのではないかと期待している。その文化の違いを感じるためには、英語を習得していることが前提条件となってくると思っています。

鎌田： 留学先で勉強したい分野は？

小林： 高校まではこの分野が学びたいという専門分野はなかったが、大学に入って様々な一般教養の授業を受け、語学、心理学、教育の分野にも興味がでてきました。

山田： 英語を習得して様々な外国人と話せるようになりたい。そして日本の良さを英語で発信していけるようになりたい。今は日本語講師にも興味があるので、その方面にも活かしていければ良いなと思っています。

廣山： 英語コースの人って海外に住みたいと思いますか？

山田： 思いますね、はい。(一同笑い)

小林： 英語コースは将来海外で働いて海外に住みたいっていう人が元々多いけど、僕的には経験をつむために何年間か海外に身を置くのは良いことだと思うが、最終的にずっと海外に暮らすのではなく、外で学んできたことを日本に還元したいです。

金： 日本語がまだ十分なレベルに達していないので、今は漢字を一生懸命勉強し、日本語の小説を読めるようになりたいです。韓国でも翻訳された本はたくさんありますが、それでは自分の身にならないと思っています。日本のことは日本語で読むことで、より深化させることができると思っています。

廣山： 今は中国語を習得したら、今のアルバイト先にも中国語で会話されている中国人の観光客の方々もたくさんいらしているので、まずは、その人たちと中国語をつかってコミュニケーションをとれるようになりたいです。

水野： 以前アウトレットで働いていたとき、中国人の観光客にメニューのことなどを聞かれても全く答えることができなかったという経験があります。そして今働いているバイト先にもたくさんの観光客の方々がいらっしゃるので、その人たちにしっかり中国語で接客できるようになりたいです。

小林：中国語コースの方に質問ですが、海外で働きたい人が多いのか、それとも日本で中国語を使って働きたい人が多いのかどちらでしょうか？

水野：仕事とかまでは考えられていないですけど、今は日常生活において困らないくらいは最低限話せるようになりたいと思っています。友達の話とか聞いていると、空港で働きたいという人が多い気がします。どちらかというと日本で考えている人が多いかもしれません。

なぜ他の外国語学部ではなく、同志社大学の GC 学部なのか。

司会：他の大学にも外国語学部はありますが、どうして GC 学部を選んだのですか？

小林：僕は正直なところ、同志社大学しか受からなかったからです。元々そんなに考えてなくて、ただ、入ってから GC の先生に、英語コースの授業内容のように、人前にたってプレゼンテーションをする機会を設けている学部は同志社大学以外にほとんどないと聞き、元々考えていたわけではありませんが、今思うと入ってよかったなと思います。

房：私は中国で一度大学を卒業しました。しかし、中国の大学はあまり良い大学ではありませんでした。そして私は大阪が大好きなため、留学先は関西というのは決めていました。また大阪の語学学校にも通っていたのですが、家族に良い大学でないといけないとプレッシャーをかけられていて、公立で一番良い京都大学はとてもレベルが高かったので、私立の中で一番レベルの高い同志社大学を選びました。

小林：この質問の趣旨から少しずれるのですが、関西に住みたいと思ったのはどうしてですか？

房：2008年ぐらいに、一週間くらい旅行したのですが、大阪人は積極的で話がおもしろく、とても親切でした。関東の人よりも関西の人の方が暖かいと知って、関西がいいなと思いました。

金：高校の推薦があったので、同志社大学にしましたが、面接のために色々な同志社大学の科目について調べたところ、創設者の新島襄を含めて、教育に対してすごい力を注いでいることを知りました。同志社大学の教養科目も、本当に揃っています。さらに GC 学部は日本語のカリキュラムが本当に良くて、私はここで日本語の専門家になれると確信しています。

廣山：高校3年生のときに、どういうジャンルに進みたいかというのは決まっていたのですが、大学は本当に迷っていて、3年の夏にオープンキャンパスにきて、GC 学部の先輩方に自習室で直接話を聞いて、来年ここおいでよ！と言われたのがきっかけだと思います。

水野：最初は関学を目指していて、高校では勉強をさぼっていたので余裕もありませんでしたが、オープンキャンパスに来たときに、これというきっかけはなかったのですが、ここに通いたいな~と思うようになって、また先輩方の話を伺ってかっこいいなと思ったのがきっかけです。

鎌田：僕は大学の間に絶対に留学に行きたいと思っていて、調べていくうちに同志社大学を含めて、数が絞られていき、留学に行ったらさらに4年間で卒業できるというカリキュラムが魅力的だなと思ったのと、他の大学に比べ同志社大学はレベルも高く、中国語を話せるようになるのではないかと思います、この大学を選びました。

将来について

司会： 将来について、今どう考えていますか？

小林： 先程も言った通り、もともとは夢も希望もなかったのですが、大学に入ってからいろんな分野に興味が出てきました。海外で経験を積みたい気持ちがあり、今のところは興味の対象が多いので、そこも含めて留学では自分の惹かれるものを見つけて深めていきたいと思っています。

山田： ホテルの接客や、観光業、日本語講師、国際センター等での留学生の外国人のサポートなどを考えています。

房： 昔、中国に住んでいたときは日本語に関する仕事に就きたいと思っていましたが、日本に来て、日本にいる限りは、すべて日本語に関わりがあるので、経験としてとりあえず就職したいと思っています。帰国後は日本語を教える仕事に就きたいです。

鎌田： どんな分野に就職したいか考えていますか？

房： まだ考えていませんが、4年後の日本語のレベルを考えると先が遠い話だと感じます。

金： 今、日本と韓国は仲が悪いじゃないですか。お互いの文化について知ろうとせず、悪いニュースばかりが流れ、残念に思っています。現在韓国にも日本にも素晴らしい本がたくさんあります。私は伝えたい、知らせたい欲望が強いので将来翻訳家になりたいと思っています。特に日本で哲学を学んでいますが、日本には哲学のいい本がたくさんあるので韓国語に翻訳して是非とも韓国に伝えたいです。

廣山： 話が少しそれるのですが、先程日本と韓国の関係が悪いと言いましたよね。日本に留学するときには不安や反対はありませんでしたか？

金： もちろんありました。高校のときに日本語を勉強していて周りから反対を受けなかったのは、私が外国語高校に通っていたためです。もし私が一般の高校に通っていたら、「なぜ日本語を勉強するの？」と言われていたはずですよ。

廣山： まだ3年間、大学生活も残っており、留学もまだ行ってないので、漠然としたことしかわかりませんが、元々この学部に入ったのもたまたまオープンキャンパスに来てこの学部についてよく知り、入ろうって決めたように、偶然に偶然が重なっていると思っています。だからある程度の中国語を身につけて、以降は簡単な言葉ですが、そのときの流れに任せて仕事があったら良いなと思うし、これからの人生の中で、中国語を使う仕事に就けたら良いなと思っています。

水野： 私もまだ将来についてはまだわかりません。ですが、毎日毎日中国語をやっていて言語だけでなく、中国の文化についても学ぶ機会が多く、それを活かせる仕事に就けたら良いなと思っています。

鎌田： もともと通訳になりたかったのですが、大学で言語だけでなく中国について学んでおり、大学院に進むのも良いなと思っています。どちらにしても、卒業してからすぐ就職というのは考えておらず、もっと中国語を勉強して、日常会話だけでなく、専門分野に絞られても話せるぐらいのレベルにしたいと考えています。

GC に入って今どう思っていますか

司会：次が最後の質問です。今 GC に入ってどう思ってますか？

山田：私は大学に入り、GC に入ってなんかすごい、今までは中学とか高校とか狭いように感じており、大学に入って本当に広いなと思います。また様々なところから人が集まってきており、色々な人がいて、とても頑張っているところとか知ったり、「みんな英語話してる」と思ったりなど刺激的でした。

房：同志社大学に入って、昔の日本語学校とは雰囲気が全然違うと思っています。日本語学校にいたときは、やはり「みんな楽しく日本語を勉強しましょう」という雰囲気でしたが、大学では本当に専門的な日本語を勉強していて、教授もとても厳しいです。昔、私は日本語を話すのが大好きでしたが、今は教授に、私は話しているだけで全然考えておらず意味が全然伝わっていないとか、私の日本語の発音の仕方がおかしいなど言われて、昔のように自由に話そうという考えもなくなってきました。今は少し慎重に考えてから話すのが一番大事だと思うようになりました。

小林：質問ですが、昔は自由に話ができて、今は厳しくて専門的で、昔と今と違うと思いますが、今同志社に入って厳しい先生がいて、いろいろ厳しい指導を受けて考えて話すようになったと言いましたが、それは自由に話せなくなって嫌だというマイナスが大きいのか、それともよく考えてしゃべるようになったというプラスが大きいかと言ったらどちらですか。

房：やはり半分半分です。とても厳しいので本当にストレスがたまりますよ。話しているときも自分の話していることが本当に人にバカにされているかなと思い、やはりそれは少しマイナスだと思いますが、考えながら話すようになりました。

金：私は GC に来て本当によかったと思います。授業も少人数で、前に出て発表する機会も多く、学問的な日本語を学ぶことができます。私は日本語の構造という授業が一番面白かったです。私たちが普段話していて意識していない、隠れている構造を探求することがとても面白いと思います。

小林：少し質問ですが、金さんは同志社 GC に入って、「先生厳しいな怖いな」なんてことはありませんか。

金：あります。私は注意されたら、「あ、はい」と言います。もし私の日本語の発音が悪くて、「この発音が悪いですよ」と言われたら、「あ、直します」と言います。初めは、私自身「ああ～発音を厳しく直されるのは嫌だな」と思いましたが、将来のためには（笑）。

小林：ちゃんと言ってほしい？

金：はい。

廣山：日本語コースの方って、金さんたちみたいにそのくらいペラペラと話せるのですか。

金：実は私は一番日本語下手です。授業もほかの教養課目も全部日本語で、これぐらいの日本語能力は当然です。私は3年間日本語勉強しているのですが、8年間勉強した人もいるし、中国の日本企業で働いてから、ここに留学しに来た人もいます。

小林：経歴がバラバラってことですね。日本語コースの友達が他に二人いますが、その二人も私とはレベルが違うかなと、思います。

水野：入って良かったなと、思います。やはり大変魅力である少人数制は、みんなとの距離が近いし、先生との距離も近いし、自習室に行ったら先輩がいて、話しかけると、中国語やその他色々なことを教えてくれます。高校のとき、友達と一緒に頑張って同志社行こうってとても頑張って勉強して、友達は他の学部に行きました。だけど、春に話すと、あれだけ頑張って勉強したのに、学校に行ってもサボることもあるし、何をしているのだろうとその友達は言っていました。私は GC に入って、そんなことも特になく、やはり大変なこともあるが、とても充実しており、勉強する環境がすごく整っているので、GC に入って良かったと思います。

司会：はい、ありがとうございます。これで全て終わりました。今日は皆さんの協力があったてこのような素晴らしい対談ができたと思います。またコースを超えて意見を聞くことも初めてだったので、その点でもよかったのではないかと思います。以上で、対談を終わりたいと思います。ご協力ありがとうございました。

今回、対談に参加していただいた皆さん、ありがとうございました。英語コース、中国語コース、日本語コースの方に集まってもらい、対談に参加した人たちにとっても、違うコースの方の声を聞くというのは初めての機会だったと思います。なぜ GC を選んだのか、なぜ同志社に来たのか、それらを思い起こす良い契機にもなったと思います。英語コースは春から、中国語コースは夏からいよいよ留学がスタートします。どんなときも初心を忘れず、頑張っていきましょう。

国重 浩希

「友達づくり」

コーディネーター：和田 健太郎（中国語コース1回生）

対談者：渡辺 将也（中国語コース1回生）

張 若文（日本語コース2回生、中国）

デブリーズ・ピーター・マケンジ（以下、ケンジ 日本語コース4回生、アメリカ）

こんにちは。中国語コースの和田です。中国語コースの渡辺さんと、中国からの留学生である張さんと一緒に、この記事の編集を担当させていただきました。よければ最後まで読んでいただいたらうれしいです（笑）。

ご存知の方も多いと思いますが、グローバル・コミュニケーション（以下、GC）学部の魅力は、同志社大学内で勉強する環境だけでなく、海外への留学の環境も非常に整っていることが挙げられます。また「留学すること」が卒業の必須条件でもあります。つまり、GC 在学生、ないしはGC 学部への進学を考えてくださっている方々には、「留学」はものすごく重要なポイントとなっています。そんな「留学」について、ここでは「現在、GC 学部に留学中の方々の日本での友達づくり」をテーマに話していこうと思います。この記事から留学を控えた皆さんには「自分が留学生として海外へ行く際」に、また、すでに留学から帰って来られた方々には「日本語コースの留学生との更なる交流」のために、力になれば幸いです。

和田：本日は、お集まりいただき、ありがとうございます。留学に際しての「友達作り」というテーマは、来年、中国に留学を義務づけられている中国語コースの私たち1回生にとって教訓になると思います。そこで、今日は、アメリカから留学中のケンジさんにインタビューします。

張：では、最初の質問です。どうして、日本に留学したのですか。

ケンジ：幼いころから格闘技に興味があり、空手やテコンドーをやっていて、日本の武道に関心を持っていたからです。

張：次に、どうして同志社大学のGC 学部に入ったのですか。

ケンジ：外交官になるのが夢だったので、GC 学部は外交官に向いていると感じたからだな。

和田：そうでしたか。日本人の友達は、何人くらいいらっしゃいますか。

ケンジ：ガールフレンドは日本人だけど、友達ってなると、そんなに日本人ではたくさんはいないかな。昔はもっとたくさんいて、一緒によくご飯や呑みに行ったりしたけど、留学を終えてしまったり、卒業しちゃっていなくなっちゃったから、今は8人くらいかな。

和田：GC 学部において、日本人の友達と知り合ったきっかけはなんですか。

ケンジ：それは人それぞれだと思うけど、大学だったら GC 学部専用の自学自習室や一緒に授業のクラスが知り合う場所になると思う。

渡 辺：日本人とコミュニケーションを取る時や、友達を作る時に、難しかったと感じたり、苦労したりした点は何ですか。

ケンジ：初めて日本に来た時は、高校留学の時だけど、最初はほんの少ししか日本語を話せず、敬語などはわからなかった。初対面の人に「お前」って言っちゃうくらいひどい状態で、全く丁寧さがなくて…。でも、その時に日本語をサポートしてくれる人がいてよかった。

和 田：ということは、高校生活を通して日本語がうまくなったということですか。

ケンジ：いや、高校ではあまりうまくならなかったかな。高校じゃなくて、ホストファミリーが日本語を丁寧に教えてくれた。他には、大学に入る前に、今出川キャンパスの留学生別科に1年半くらい通って、たぶんそこで日本語の基礎を学んだかな。

和 田：これから日本に来られる留学生の方へ、日本人の友達を作るアドバイスはありますか。

ケンジ：友達がほしいと思ったら、何か部活に入るといいかな。その部活の飲み会とかでみんな仲良くなるし、上下関係が耐えられるなら、入ったほうがいいと思う。上下関係が厳しいなと思ったら、外国人と触れ合おうみたいなイベントが何回かあるから、そういうものを積極的に探して、参加するのがいいかもね。

和 田：貴重なご意見ありがとうございます。これで対談は終わりです。本日はお集まりいただきありがとうございました。

まとめ

ケンジさんや張さんの話を聞く中で、日本人学生との出会いのきっかけの大きな割合を占めるものが、GC 学部の自学自習室であることがわかりました。自学自習室は、座学や PC を使ったレポート作成などに活用できるだけでなく、学部を問わず参加できる、英語を使った交流会が定期的に行われることが大きな魅力となっているようです。出会いを求め、こういった自学自習室のイベントに積極的に参加してみると、良いかもしれないですね。

また、日本の大学生と同じように、やはり、サークルや部活に所属することも大きな出会いのきっかけとなっているようです。しかし、日本の大学生にとっては「サークルや部活に所属する方が友人の輪が広がる」といった共通認識が存在しますが、国によってはそもそも大学にサークル・部活といったものが存在しない場合もあります。そのため、日本のこういった事情が把握できず、結果的にサークルや部活に所属し、交流の輪を広げるといふ、きっかけを逃してしまっていることがあるようです。

そして、高校生や大学生がアルバイトをしない国もあるようです。日本の大学生の出会いのきっかけの1つとなっている、アルバイトについても同様のことが言えます。そのため GC への留学生に「より友達の作りやすい環境」を整えるために、こういった細かい日本の大学生生活の情報を外国人留学生に伝える取り組みをした方がよいと思いました。また、日本から海外へ留学を控えた方々にとっても、留学先での友達づくりの役に立つことができれば、幸いです。

ゼミの先生の思い

現在英語コースには8つのゼミがあり、中国語コースには4つのゼミ、そして日本語コースには3つゼミがあります。このコーナーでは、ゼミを担当しておられる先生方の内の数人の先生へのインタビューに基づき、先生方それぞれのゼミに対する思いを紹介したいと思います。

英語コースからは、竹田 宗継先生、玉井 史絵先生、松木 啓子先生

中国語コースからは、内田 尚孝先生、中西 裕樹先生

日本語コースからは、須藤 潤先生、脇田 里子先生

以上の先生方にご協力を頂きました。

先生方一人一人がゼミに対しての熱い思いを語ってくださり、どのゼミもそれぞれのカラーを持ち、多彩な魅力を放っているということを強く感じることができました。全てのゼミを紹介することができないのは残念ですが、今回の記事を通じて、ゼミとはどのようなものなのかといったことや、先生方のゼミに対する思いを少しでも感じ取っていただけると幸いです。

山元 恵梨奈

担当 英語コース 佐藤 里奈、廣江 華蓮、山元 恵梨奈
中国語コース 岡浦 愛、村瀬 令奈
日本語コース 王 媛媛、刘 梦

英語コース



竹田 宗継 先生

ビジネスの場において「グローバル化」が大きな課題となっていますが、そこで必要とされるのが高度なコミュニケーション能力。世界経済の変化が激しい中で「グローバル・ビジネスと異文化間コミュニケーション」というテーマに取り組まれている竹田先生はゼミにおいて実体験を基にした実践的な授業や課外活動を展開してくださっています。

今回、私はますます進展するビジネスのグローバル化を軸に活動をされる竹田先生のゼミについて語って頂きました。インタビューを通して将来へのビジョンを探っていきましょう！

先生がグローバル・ビジネスと異文化間コミュニケーションの研究を始められたきっかけは何ですか？

以前、企業に勤めていた時に、アメリカに8年間、ヨーロッパ（ドイツ・イギリス）に3年間駐在していたことがありました。そこでの経験を通してグローバル・ビジネスにおける異文化間コミュニケーションの大切さについて身をもって感じたことがきっかけです。今やあらゆる

業種や職種においてグローバル化が進み、様々な歴史・文化・宗教や価値観を背景にもった人々と仕事をする機会がどんどん増えています。そして、ビジネスというのは人と人との関係で始めて成り立つものであり、ビジネスはコミュニケーションが全てであると言っても過言ではありません。もちろん、そこには言葉もありますが、相手の価値観や考え方を理解したうえでお互いの利益につながるようコミュニケーションを進めます。そして、文化や習慣が異なるがゆえに起こりうる誤解などを避けつつ、ビジネスの成功につなげていくことが大事なことです。もちろん、これは容易なことではありませんが、ビジネスの基本知識やビジネス英語、異文化間コミュニケーション能力を身につけることがそれぞれの活力と強みになると考えています。

グローバル・ビジネスとコミュニケーションの研究における魅力とは何ですか？

異文化間のビジネス・コミュニケーションについて自身で経験をしてきたことを含めて様々な角度から研究を行い、理論と実際に起こっていることの裏付けをしていますが、同時に研究を通して未知の世界や新たな理論を発見することができます。これから益々発展を遂げるベトナム、インドネシアのような新興地域、イスラムの世界といった中でも当然、異文化間のコミュニケーションが必要とされます。このようにビジネスにおける異文化間コミュニケーションは常に広がりを見せていますが、それは同時に学問的領域も広がっていくということです。そこが研究テーマの興味深い点であり魅力だと思います。

ゼミで学んできたことが実生活にどのように役立つのでしょうか？

皆さんの多くは今後社会に出て、色々なビジネスに携わっていくことと思いますが、先程言った通り、どのような職種、業種に就いてもグローバルに関係する仕事を避けて通ることはできないでしょう。そういった中で「グローバル・ビジネスと異文化間コミュニケーション」をテーマとしたゼミで学んだことを実社会で活かしていったほしいと思います。もちろん、文化や習慣が異なる相手の価値観やコミュニケーションスタイルを100パーセント理解することは無理だとは思いますが、しかし、重要なことは異文化間のコミュニケーションに対するしっかりとした心構えをもつことです。相手のメッセージを自分自身がオープンなマインドで受け入れていき、その中で主張すべきことは主張し、聞き入れるべきことはしっかりと聞いてお互いがWin-Winの関係を築くことがビジネスの最終的な目標です。双方が上手くコミュニケーションを取りながらビジネスの達成に向けてまとめあげられるような考え方やスキルを皆さんには身につけてほしいと思います。

ゼミ生、GCの学生にどのような大人になってほしいと思いますか？

異文化間でコミュニケーションを図るということですから、やはり、語学力は重要です。

また、異文化間のコミュニケーションについてまず重要なことは、論理的な話の展開ができることであり、これは自分の伝えたいことを筋道を立てて相手に伝えるということです。また、相手の言うことを聞き上手になるということもとても重要なことです。そして、その前提として、必ず自分と相手との違いがあるということを知っておく必要があります。日本では当たり前のことが、相手の国ではそうではないということがあるので、そういったことをしっかりと理解した上で、それを受け入れられる柔軟なマインドを持ち、相手に対する思いやりを持ってコミュニケーションができる人になって欲しいと思います。

最後に、こういった学生にゼミを志してほしいか、そして一言メッセージをお願いします！

ゼミでは全体として“one for all, all for one”という考え方で、それぞれが自分一人だけではなくて全員がお互いに協力し、全体の能力を高めていって欲しいという思いを持って活動を進めています。それぞれがチームの一員として自分の能力を高めることもできるけれど、ゼミ全体も一緒になって盛り上げていく。そのことを通してゼミの価値を高めていきたいという考え方をを持った人に入ってきて欲しいと思っています。

グローバル・ビジネスに興味があり、ガッツのある人を待っています！！

いかがでしたか？私自身も竹田ゼミに入ってから、竹田先生、そしてグローバル・ビジネスに対する熱い思いを持った他のゼミ生にとっても刺激を受けています。そんなお互いがリスペクトしあえる雰囲気の原因とも言える“one for all, all for one”という精神と竹田先生の熱い思いが伝わってくるインタビューでした！

貴重なお話をありがとうございました！

英語コース3回生 佐藤 里奈



玉井 史絵 先生

玉井先生は、19世紀のイギリスにおける文学と文化を専門に研究されている、GC 学部の教授です。

担当のゼミでは、異なる文化の対象を文学や博物館などの中で表す時に生じる問題点や、その背景などについて学んでいます。

今回は、玉井ゼミ、そして先生自身の魅力に迫っていききたいと思います。

先生の専攻は19世紀のイギリス文学と文化ということですが、その研究を始めようと思ったきっかけ、また、どういうところに魅力を感じたのかお聞かせください。

小さい時から本が好きでしたね。なので、自然とそういうことに興味を持って、その結果大学も英文学科に入学しました。小説の歴史において、19世紀のイギリスが特にその動きが活発だったところに魅力を感じたんだと思います。

このゼミの勉強ですが、実生活の中で、どのように役立てることができると考えていらっしゃいますか？

物事にはいろんな解釈がありますよね。私のやっているこのゼミもその一つだと考えていて、学生の皆さん自身にもいろんな考え方がありますから、私から皆さんに特定のものを押し付ける気はありません。人それぞれの考え方がある、ということ自体もこのゼミの大きなテーマです。例えば小説なんかは、それを読むこと自体が、他者（登場人物）に感情移入し、他者（登場人物）の考え方を読み解くことですよね。また、同じ本なのに読むたびに新しい発見をすることはありませんか？同じ自分という人間が読んでいますはずなのに、時の流れとともに新たな視点を得ているわけです。それが他の人だったら、なおさら違った感じ方をしているはずですよ。きっと、実生活の中でも、同じことを見ているのに、全く違った考えを抱く人に出会う

と思います。このゼミを通じて、同じものでも全く異なる、様々な視点があるということを伝えられたらと考えています。さらに、そういった他者の視点というものは、長い時間をかけて向き合わないと見えてきません。ですから、一つのことにじっくり向き合うことの大切さも、同時に伝えて行けたら嬉しいですね。

このゼミを通じて、学生に感じ取ってほしいことってなんですか？

自分の思っている世界が当たり前じゃないということです。先程も言いましたが、物事にはいろんな見方がありそれぞれの世界観があります。自分が今まで持っていた価値観の外に広がる新しいものの見方、それって新たな可能性の存在を知ることと同じだと思うんですよね。自分が思っている方向だけじゃない、違う捉え方もあるんだと考えることができたとき、ずっと囚われていた自分だけの視点から解放され、新たな視点で、世界を見ることができるようではないでしょうか。いろんなものの見方の可能性があるという話ですが、例えば、皆さんは教室で椅子にきちんと座って授業を受けていますよね。でも、もし赤ちゃんが突然、私たちが授業している教室に入ってきたらどうでしょう。きちんと椅子に座るでしょうか。きっと、先生が使っている机によじ登ったり、床で座って遊んだりすると思います。同じ空間にいても、我々とその赤ちゃんとは、全く違った世界が見えている訳です。授業では、同じ小説が、違う文化の中では違う解釈を持たれていることなども少し話しますが、このように、違うものの見方、ほかの可能性の存在を意識することが、辛いことがあった時などに、少しでも気持ちを楽にする手助けになってくれたら、と思っています。

どういう社会人になってほしいですか？

基本的にはみなさんそれぞれの考えがあって、その人個人の考え方があるので「こうなってほしい」と私から押し付けるようなことはありませんが（笑）、自分って、自分以外には決してなれないです。自分が普段どういうふうにいるか、客観的に捉えることってできないんですよね。自分の姿も、鏡に映したもののくらいしか見ることはできません。本当の自分像を捉えることってできないんですよね。普段、生活するにあたって、最も見えていない、自分という存在、しかし、それ以外のものには、どうやってもなることができないのです。面白いんですよね。だから、皆さんには、自分は自分でしかないということを踏まえて、皆さんにしかできない、皆さんらしい生き方をしていってほしいと思います。

それでも、あえて何か言うとしたら、何か問題が起こった時にそれを他人のせいにするような人にはなって欲しくないです。

最後に

ゼミの勉強の内容だけでなく、私たちに対する熱いメッセージ、ありがとうございました。玉井先生が今までどういう人生を歩んでこれたのか、ますます興味がわいたインタビューとなりました。先生方は、学生からすると、若干近づきたい印象を受けますが、機会があればもっとお話ししたいです。貴重なお時間をいただき、ありがとうございました。

英語コース3回生 廣江 華蓮



松木 啓子 先生

今回、私は英語コースの松木啓子先生にインタビューをさせて頂きました。

松木先生は、言語人類学を専門としておられます。先生のゼミでは、まず、言語や人類学に関する基本的概念や理論、方法論を学びます。そして、そこから得られた知識を応用し、日々のコミュニケーションにおける問題や儀礼論といった分野を中心に研究を進めています。では早速先生のインタビューに関する回答を見てみましょう。

先生が人類学の研究を始めたきっかけ

この質問に対して松木先生は、昔働いておられた会社で“あること”に疑問を持ったことが人類学に出会うきっかけとなったと答えてくださいました。それは会社での女性のお茶汲み。どうして会社では女性がお茶汲み係としての役割を任される傾向があるのか。そこに疑問をもったそうです。そして、それに対しての答えを与えてくれたのが人類学であったと答えてくださいました。

また、人類学は上記のようなジェンダーに関する問題に対してだけではなく、様々な人間行動に関する疑問を解いてくれるものであると気づき、その深みにはまっていかれたようです。

人類学の魅力

松木先生は人類学に関して、特に、交換論や儀礼論といった分野に魅力を感じておられるようです。交換論・儀礼論とは、一体、何なのかと思われる方も多いでしょう。しかし、先生のお話を聞いていると、これらを通じて日々のコミュニケーションへの応用が可能であったり、コミュニケーションのパフォーマンス性といったものを感じ取ったりすることができ、とても興味深いものであると感じました。ここでは、交換論について軽く説明したいと思います。普段、私たちは日常的に交換を行っています。スーパーに行ったときは、お金とモノを交換しています。しかし、交換という動作には、そのような経済的な意味の交換にとどまらず、さらに、深い意味を求めることができます。

例えば、フランスの人類学者レヴィ・ストロースが発展させた研究の中に女性の「交換」というものがあります。彼は、婚姻と言うものを女性の共同体間（例 集団 A と集団 B）での移動という点からとらえました。そして、共同体同士が女性を特定の約束に基づき「交換する」という考え方をしたのです。この行為は社会環境を作り上げる上で非常に重要なもので、その地域で女性は非常に尊重されているのです。普段何気なく私たちが行っている動作も、実は、深い意味を含むものに成り得ます。そこに人類学の魅力があるそうです。

ゼミを通じて、どんなことを感じ取ってほしいのか

人類学それ自体の面白さはもちろん、コミュニケーションを実践する上で、ゼミ（人類学）を通して学んだ知識が生きてくるといこと、さらに、物事を論理的に考えることの重要性を感じ取ってほしいと言っておられました。特に、物事を論理的に考えるということは、ゼミだけではなく、日常生活においても非常に重要になってきます。ゼミでの論文執筆を通じて、そのような論理的思考も養ってほしいと言っておられました。

ゼミで学んだことが、実生活にどう役立てられるか

人とのコミュニケーションは、時に様々な疑問や感情を伴うものです。「なぜ、あの人は私に対してあんな物言いなのか?」「なぜ、あの人は私が言ったことに対して怒りを表したのか?」そんな疑問や感情に対する答えを人類学は与えてくれると、松木先生は言うておられました。人類学は実際の事例の研究を通じて成り立つ学問であるため、人類学を研究するということは、日常のコミュニケーションで起こる疑問を解くことに非常に役に立つとの答えを頂きました。

特に、異文化間コミュニケーションに関して、人類学から得られる知識は非常に有益であると言うておられました。異なる文化をもつ人間同士が接触すると、同文化を持つ人間同士の接触に比べ、葛藤や怒りを含めた様々な感情が頻繁に現れます。そういった際に、人類学はそれらの感情の原因を説明してくれたり、コミュニケーションをスムーズに進める上での一種のツールのようなものになったりするということでした。

ゼミの学生を含め GC の学生にどういう考えを持った人になって欲しいと思うか

この質問に対しての松木先生のご回答は、ものすごく興味深いものでした。

先生は、学生たちには是非“Interesting”な人になってほしいと言うておられました。

先生の意味する“Interesting”な人とは「教養と心の豊かさの引き出しを持った人」。学問を通じて得られた知識や理解力を持ち、またそれだけではなく、話題が豊富で面白く、一緒にいて楽しいと思うような人。そんな人になって欲しいと願うておられます。

そしてまた、“GC spirit”を持った人になってほしいとも言うておられました。松木先生曰く、この“GC spirit”とは「いつの時代にも力強く生きてゆける精神」のこと。

GC 学部の英語コース、中国語コースには、約一年間の必修留学があります。その留学へ向け学生たちは、知識面や精神面を日々鍛錬する必要があります。また、その鍛錬は留学中のみにとどまることはなく、留学後も続いていくでしょう。そして、その結果、生み出される“GC spirit”。この GC 学部という特殊な環境でだからこそ生まれる“GC spirit”をいつまでも持つてほしいと言うておられました。

最後に

先生のお話を聞いていると、先生自身がまさに“interesting”な人であると何度も思われされました。また、人類学は私たちの生活と非常に密着している学問であり、だからこそ、学んでいてとても為になり、楽しい学問であると感じました。

貴重なお話をありがとうございました。

英語コース3回生 山元 恵梨奈

中国語コース



内田 尚孝 先生

先生が研究を始めたきっかけは？

そもそものきっかけは大学で中国や日中関係・日中関係・中国外交などを学んでいくなかで、それまで中学や高校で勉強したものとは相当違うのだという印象を受けたことだそうです。そこで、先生は文部科学省の国費留学生として、中国の山東大学に留学されました。山東はとても歴史の深いところであり、そこで多くの歴史にふれ、中国の歴史に興味をもったことがきっかけであった、と答えてくださいました。

どこに研究の魅力を感じているか？

これまでの日本における日中関係の研究や見方は、日本が主体であり、中国は客体でした。しかし、日中関係という以上は日本と中国を同じ重みでとらえなければならない。日本の立場、日本の資料から日中関係をみるだけでなく、中国も日本と同じように主体として捉え、中国の資料と日本の資料を見比べると、その当時の両国がすれ違っていったのか、本当はどのような状態であったのかが分かってくる。そこが研究の魅力だと言っておられました。

ゼミを通じて、どんなことを身につけてほしいか。

中国語コースであるから、当然、中国に関する知識を深め、理解を深めてほしいというのはもちろんだが、柔軟な思考力を身につけ、考えたことや感じたことをきちんと相手に伝わるように言語化する力を身につけてほしい。また、グローバル人材として日本と中国の間でしっかりと仕事ができる基礎力を身につけてほしい。言語を話すことのできるということがコミュニケーションの必要十分条件ではなく、日中間では特にだが、日本の立場から意見を述べるばかりではなく、客観的に両国を捉え、両国の長所・短所を理解し、お互いの長所を組み合わせることのできるようになってほしい、と答えてくださいました。

研究から学んだことが実生活にどう役立てられるか、あるいは役立ってきたか

中国や中国語圏に対する偏見に近いような議論を耳にした時には、それを聞き流さず、それは違うのではないかと考えられる。

ゼミの学生を含め GC の学生にどういう考えをもった人になってほしいと思うか

グローバル人材として、世界に常に興味を持ち、日本人として日本から物事を見るばかりでなく、世界から見た日本はどう見えるのか、など様々な立場や角度から物事を捉える力を持った人になってほしい。そして自分たちの長所と外国の長所を結びつけられるような人になってほしい、という答えを頂きました。

最後に

先生のお話を聞き、GC 学部に所属する私たちは、常に、客観的な姿勢を持つことが非常に重要なのだと感じました。そしてグローバル人材として世界で通用できるように基礎知識を身につけることは必要不可欠であり、そのための努力を惜しむべきではないと改めて感じました。

貴重なお時間を割き、インタビューに応じて頂き、ありがとうございました。

中国語コース1回生 岡浦 愛



中西 裕樹 先生

中西先生は、実際現地に赴き言語を調査するフィールド言語学、言語の歴史的な変化を考察する歴史言語学を専攻されておられます。

ゼミでは中国語圏のことばに関する諸問題を中心として扱っており、中国の社会、ジェンダーなど、各自、興味のある分野について発表する学生もいます。

ゼミは2部構成となっており、1部ではことばに関係ある文献を輪読し、2部では各自興味のある分野について発表という風に進んでいきます。

先生が研究を始めたきっかけは？

大学生時代に受けていた言語学の授業がきっかけだったそうです。言語学の先生が「今地球上には3千～1万の言語があるが、話者人口が多く文字がある言葉でなければ、そのほとんどが21世紀中に滅びてしまうだろう」とおっしゃっていて、中西先生は当時勉強していた中国語を媒介言語としてそういった全く調査のされていないことばを調べようと思ったそうです。ことばは人間の思考、アイデンティティに大きく関わっていて、英語や日本語だけといった一部のことばを学んだだけで、ことばについて全て理解したと考えるのは危険であり、実際はもっと多様性があるということを分かっていなければならないとおっしゃっていたのが印象的でした。

どこに研究の魅力を感じるか

それまで、誰も調べたことのないものを自分で調べて発見することに魅力があるとおっしゃっていました。また中西先生はことばそのものが好きで、ことばの体系だったシステムを見つめられたときに喜びを感じるそうです。

研究で学んだことが、実生活にどう役立っているか

中国の人と話していて、方言の話をすると話が盛り上がるし、喜んでもらえるとおっしゃっていました。また、ことばは体系だっているものであり、外国語は筋道立てて考えなければ、理解できないため、論理的な思考をする訓練になるとも答えていただきました。

GCの学生にどういう人になってほしいか

人間は誰もが偏見を持っており、意識的ではなくても、差別をしてしまうことがあります。GC学部の学生には、特に、それが差別であると気付くことができるようになってほしいとおっしゃっていました。理性的に性的マイノリティ、外国人などの問題を考えて、みんなが共存していけるような道を考えられるようにならなければ、この学部に来た意味がありません。「嫌だ」と思った時に一方的に非難するのではなく、どういう背景があるのか、どうすればうまくやっていけるか考えられる人間になってほしいとおことばを頂きました。

最後に

ことばが考え方やアイデンティティにまで結びつくというのは、当たり前のようで分かっておらず、大きな発見になりました。言語学は、ただ言語を調べて極めるものではなく、思考や人間の理解へと大きく広がっていく学問なのだと感じました。貴重なお話、ご協力ありがとうございました。

中国語コース1回生 村瀬 令奈

日本語コース



須藤 潤 先生

ゼミの紹介：「音声コミュニケーションゼミ」

「音声コミュニケーションゼミ」は、日本人や外国人の話しことばに現れる様々な現象について、音声学や会話分析の考え方をもとに理解を深めます。最終的には自分が決めた1つの現象について調査や実験を行い、ゼミ論文を執筆します。

先生が研究を始めたきっかけは何ですか？

大学3年生のレポートがきっかけです。かつて昼に放送されていた番組『笑っていいとも!』でのタモリさんとゲストの対談を録音して、文字化しました。その中の感動詞（例えば、あ、え、うん）について、レポートを書きました。当時の指導教官に「よかった」と褒められたのが研究を始めるきっかけとなりました。

どこに研究の魅力を感じていますか？

「あ、え、うん」は短い言葉ですが、会話にはよく出てきて、果たす役割も大きいです。形は単純なものですが、奥は深く、宝島みたいなものだと思います。日本語の研究の中でも歴史が浅いので、やり続ければ、いろいろと面白いものが出てくるのではないかと思います。特に、音声から見ると、面白いです。音調（音の高さの変化）など、ふつうの単語ならあまり注目することはありませんが、感動詞の音調は意味に大きな影響を与えますから大切だと思っています。

ゼミを通じて、どんなことを感じ取ってほしいですか？

まず、日本語について分析力を身に付けてほしいです。卒業しても、周りの日本語を分析できれば、一人で日本語をどんどん身に付けられるから、日本の社会でうまくやっていけると思っています。また、考える力も身に付けてほしいです。ゼミでは、あえて、みなさんのレベルではやや難しい論文を読んで発表してもらっていますが、理解できる力、そこから考える力を身に付けてほしいからです。将来、会社では、自分が知らないことを仕事で扱うことが多くなるでしょう。そんなときでも、しっかり理解して考えられるようになってほしいんです。

研究から学んだことは実生活にどう役立てられるか、あるいはどう役に立ってきましたか？

まず、日本語を教えるときに役に立ちます。また、イントネーションは意味や感情にも関わっていて、コミュニケーションに重要です。音声はことばの意味ばかりではなく、気持ちも表すので、イントネーションをちょっと変えるだけで、いやみっぽく聞こえたりするんです。さらに、将来、日本に住む外国人が増えてくると、いろいろな日本語の発音を聞くことになります。日本人には、例えば、外国人の日本語の発音のバラエティーを知ってもらったりして、外国人が広く受け入れられる社会にするのも、近い将来、私の仕事になるんじゃないかなと思っています。

ゼミの学生を含めて、G Cの学生にどういう考えを持った人になってほしいと思いますか？

「百聞は一見にしかず」。ゼミでも、実験や調査がないと、つまり、実際に調べないとよくわかりません。想像だけではだめです。チャレンジしないと、結果がわかりません。失敗しても、そこから、また考えれば、よい結果になるかもしれない。何もしないと、何も手に入りません。考えて、行動する人になって、日本の社会で活躍してほしいです。

私の感想：

須藤先生は私たちへの期待が大きいと感じました。学業だけではなく、将来社会で、どのように生きていくかにも配慮してくださっています。学生の私たちに何が必要かと考えながら、講義をしてくださっています。このような熱い気持ちは本当にありがたいと思います。

日本語コース3回生 王 媛媛



脇田 里子 先生

脇田里子先生の専門は日本語教育学だ。ゼミ生たちは、日本語教育学に関する日本語教育文法、日本語教授法、社会言語学、誤用分析、教材開発など、特定のトピックの講義や演習を通して理解を深めている。また、日本語教育において、日本語学習者を取り巻く社会や文化事情、言語学習環境等にも配慮する必要があり、異文化理解教育、授業 Web サイトを利用した教育学のアプローチにも取り組んでおられる。

先生が研究を始めたきっかけは？

九州大学で言語学を専攻したので、言語理論やいくつかの言語の初級レベルを学んだ。最も興味深かったのは、母語である日本語だった。日本語の面白さを伝えられる仕事として外国人に日本語を教える日本語教師の仕事があることを知った。当時、日本語教育を専攻とする大学院は、東京、名古屋、大阪の3都市にしか設置されていなかった。そこで、大阪外国語大学大学院に進学し、日本語学や日本語教育学を学んだ。大学院修了後、大学教員になり、外国人留学生に日本語や日本文化、異文化理解教育を教え、20年以上になる。

どこに研究の魅力を感じているか？

現在、私は、学部留学生のアカデミック・ライティング教育と異文化理解教育に取り組んでいる。理論的な研究よりも、それを教育の現場に応用した実践研究に関心がある。理論的な研究やその他の実践教育を参考にしながら、自分なりの教育方法を提案し、それを授業で実践している。この研究の魅力は、実践を通じて、学生が課題を理解し、達成できたときの喜びと一緒に感じられることだ。もちろん、うまくいかないときもある。そのときは、反省し、改善を加え、次回に臨む。

アカデミック・ライティングに取り組むきっかけになったのは、10年前に同志社大学の留学生別科、今の日本語・日本文化教育センターに赴任したことが大きい。つまり、センターでは、毎学期、日本語上級のライティング・クラスを担当していたこと、そして、毎年、別科生の大学院進学のための個別指導を何人も担当していたことにある。たとえ留学生が日本語能力検定試験のN1レベルに合格したとしても、論理的な文章、レポートを書けるとは限らない、どうしたら、論理的なレポートが書けるようになるかに関心をもち、研究と実践を続けてきた。

ゼミを通じて、どんなことを感じ取ってほしいか？

少人数教育の強みを積極的に生かすため、ゼミでは、教員が講義することより、受講生が発表し、学生の意見を述べる時間が多くなるように工夫している。基礎的な知識を得る段階でも、テキストを読めば理解できるところは、積極的に要約発表をさせている。授業では、自分で考え、自分から問題点に取り組む、自律した学生になってほしいと思っている。

研究から学んだことが、実生活にどう役立てられるか、あるいは役立ってきたか？

異文化理解教育では、異文化摩擦の事例をあげ、なぜそうしたことが起こるのか、摩擦が起きたときの状況確認と原因分析に関して、グループ・ディスカッションを中心に進めている。

特に、外国人の意見を聞くことにより、自分の考えと違う見方があることを体験する。こうした話し合いをすることにより、目の前にはいない文化圏の人がいれば、また、違う解釈になるかもしれないということも想像できる。自分、あるいは、自分の文化の価値や判断が絶対的なものではないこと、そして、多面的に物事を見ることの重要性を知るとは、多文化社会を生きていく上で欠かせない。授業での実践教育を通じて、実生活に役立ってきたことは、例えば、私が日本で外国人留学生と接するときに、日本の価値観だけで留学生を判断せず、立ち止まって考えることに結びついていることだ。

ゼミの学生を含め GC の学生にどういう考えを持った人になってほしいと思うか？

GC の学生に求める人物像は、同志社大学のモットーである「良心」をもつ人物、そして、「倜儻不羈（てきとうふき）」な人物である。「倜儻不羈」という言葉は、同志社大学の創設者である新島襄が1890年の遺言の中で述べた言葉である。新島襄が嫌う学生のタイプは芯のない「軟骨漢」で、逆に好ましいとしているのは「倜儻不羈（てきとうふき）」の学生、つまり、常軌では律しがたいほど独立心と才能あふれる学生である。そうした学生は、大学卒業後もグローバル社会で活躍すると信じている。

その他、学生に期待することは、キリスト教の教えを理解することである。同志社大学がキリスト教主義の大学であることはもとより、世界の中で、キリスト教を信仰する国や文化が多いため、グローバルで活躍するためには、キリスト教の教えは知っておくことが望ましい。

同志社大学がキリスト教主義の大学であると、全学生が実感するのは、入学式と卒業式の時だけである。入学式と卒業式の式辞は、キリスト教の礼拝と同じ方法で進められる。大学時代にキリスト教に触れるのが、それだけというのは非常に残念である。例えば、キリスト教文化センターが開催しているイベントに参加してみてもはどうだろうか。京田辺校地でも、毎週、チャペル・アワーが開催されている。

私は、今出川校地の音楽礼拝のチャペル・アワーによく参加していた。（現在は、京田辺校地に勤務地が代わったので、参加できなくなってしまった。）音楽礼拝において、教職員合唱団の一員として、讃美歌を歌って、奉仕するのである。音楽礼拝の場合は、讃美歌を中心に音楽を聞か、歌う礼拝である。讃美歌は、音楽を通して、キリスト教の教えを楽しく広めることを目的にしている。讃美歌には音楽の教科書で習った有名な曲も讃美歌のメロディーに取り入れられていることも多いので、誰でも歌える。

一般のチャペル・アワーでも、会の始めと終わりに讃美歌を歌うので、一度、参加して、歌ってみてもはどうだろうか。京田辺校地では、ゴスペルを歌うクラスもあるらしい。まずは、歌って楽しむことで、キリストの教えに触れてみてはどうだろうか。

最後に

脇田先生の話聞いて、改めて、先生の日本語教育や異文化理解教育に対する熱意を感じた。そして、多文化社会において、異文化理解は実際の生活に役に立つ、欠かせないものであり、これからも学んでいくべきだと思った。

また、先生は私たちにキリスト教についてもっと知ってほしいとおっしゃっているので、チャペル・アワーに一度参加したいと思うようになった。貴重なお話、本当にありがとうございました。

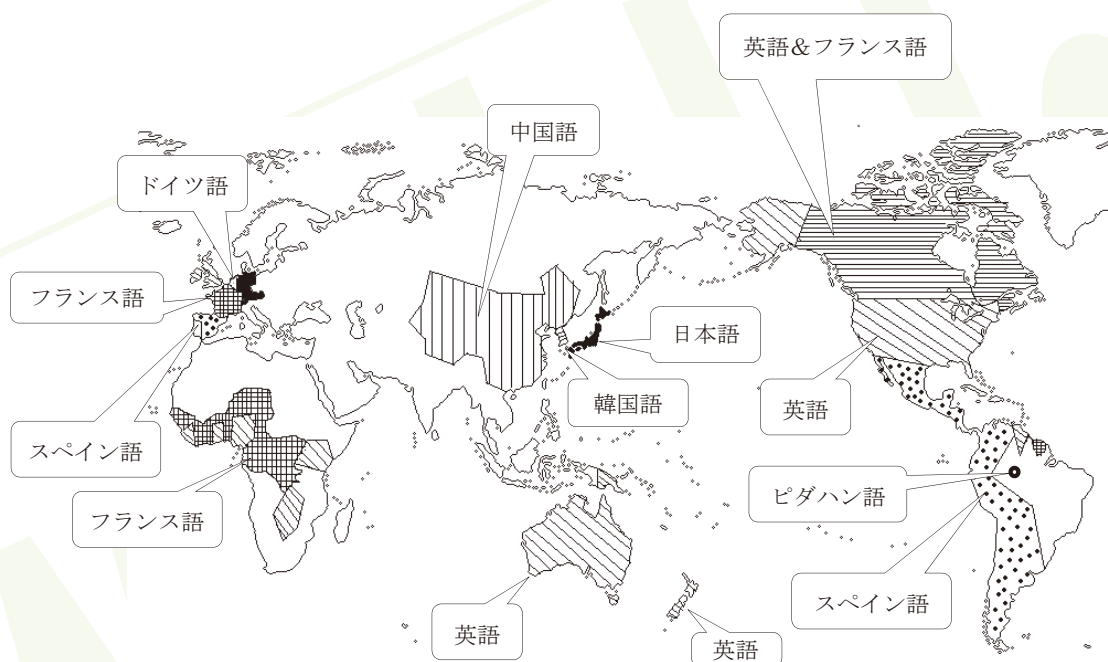
日本語コース3回生 刘 梦（リュウ モン）

世界のこばをのぞいてみよう

— 英語が全てではない —

こんにちは！皆さんは普段どんな外国語を話していますか？一番なじみのある英語？なになに、他の外国語の学習は難しいからやる気がでないって？そんな心配をしているそのあなた！世界で話されているのは英語だけではありませんよ！このページでは、日本語・韓国語・中国語・英語・スペイン語・フランス語・ドイツ語・ピダハン語の8つの言語を勉強している GC 学部の学生たちが、皆さんに言語の魅力をお伝えします。気になる言語、勉強中でつまずいてしまっている言語、むしろ全然興味がない言語、どんな言語からでも構いません。少しのぞいてみたら、きっとその言語を勉強するのが楽しくなること間違いなし！それでは「目指せ言語マスター」ツアーへいってらっしゃい～♪

8つの言語が使用されている主な国の分布図



(注) <http://www.mapsofworld.com/world-language-map.htm> を参考に作成。

(文責：鍵山 裕香)

ちよつとヨウム

『What Languages Sound Like To Foreigners』

Smokahontas さんが様々な言語を、それっぽく聞こえるようにフィーリングのみで話しています。その中に日本語も入っているので聞いてみてください。また、YouTube での各国の人々の反応を見ると、とても面白いです。

日本語



みなさんが何気なく当たり前のように使っている日本語。

しかし、日本語を「外国語」として勉強している外国人は、さまざまな方法で学んでいます。

私の場合は、ドラマと歌で勉強しました♪どんなドラマ・歌だったのか見てみましょう☆(^.^)

◎おすすめドラマ



でたー！と思った人いますよね（笑）
日本ドラマの入門といわれている「ごくせん」です！

日本の若者が使っている言葉や学校生活を覗き見することができました。

だだ…これで日本語を覚えてから、日本人の友達に「あなたの日本語は乱暴だ」と言われちゃいました（笑）。

日本でも大人気だった
「のだめカンタービレ」です！
面白すぎて50回以上見ました（笑）。
このドラマで日本語はもちろん、
日本の文化もたくさん学びました☆



♪音楽♪

高校の日本語の授業で、歌で日本語を学びました。

・SMAP「世界に一つだけの花」

個人的に、初級日本語の勉強に最適な歌だと思います。

歌詞の内容もとてもいいですし、難しい単語・文法はあまり使ってないので覚えやすいです。
（花屋の店先に並んだいろんな花を見ていた～♪）

・Kiroro「未来へ」

これもとてもいい内容の歌詞です！初級～中級レベルの勉強にいいと思います。



留学生は日本語のどんなところに魅力を感じてなぜ日本語を勉強したのか
気になりますか？！

留学生に聞きました！

Q. どうして日本語を勉強しましたか？

Hさん：韓国語と日本語は、語順が同じだ。

英語に比べて、会話で適用・応用しやすかったため勉強した。

Bさん：僕と合うと思ったので。

英語は学校で6年以上学んでも、英語で話すことを避けてしまうが、日本語の場合は語順が韓国語と同じだからか、学んでからわずか三か月で基礎会話はできるようになり、もっと興味を持つようになった。

Sさん：中国語と同じく漢字が多いので親しみを感じた。

中国語と同じ漢字でも全く違う意味をもつ単語がとても面白いと思った。

Q. 日本語の魅力は何だと思いますか？

Kさん：尊敬語の種類が多く、特に、「相手に～してもらう」という表現がとても魅力的だと思った。

なぜなら、有難い感情が含まれていると思ったからだ。

(韓国語には「～してもらう」という表現がない)

Wさん：語感がかわいい。発音しやすい。

Bさん：いろんな魅力があるけど、僕は謙譲語・尊敬語だと思う。

もちろん韓国語にもあるけど、日本は「他人に迷惑をかけない」という意識が強いため、さらに丁寧に見える。そして、相手に自分の目上の人について話すときに、韓国は下げずに上げて表現するが、日本の場合は、自分には目上の人でも、相手には目上の人じゃないので下げて表現するなど、相手を配慮した言い方をする。

このような点から見ると、日本語はまず相手の気持ちを考え、自分を下げる表現が多いので、韓国語より丁寧だと思う。

(文責：車 恩美；チャ ウンミ)

ちゅっつうらみ

Summ summ summ (ドイツ民謡)

『ぶんぶんぶん』日本でよく知られているミツバチの歌です。メロディはチェコのボヘミア民謡にもともとあったもので、作詞はホフマン・フォン・ファールスレーベン(1798～1874)さんが行いました。

(ドイツ語については64頁)

한국어 (韓国語)



안녕하세요! (アンニョンハセヨ)
 これはどんな意味でしょう。これは挨拶する時の言葉で、日本語で「こんにちは」という意味です。
 日本から近い国である韓国。
 ここでは、韓国語について簡単に紹介したいと思います★

◎基本情報

- ・使っている国：韓国 / 北朝鮮
- ・使用人数：約7700万人（2010年基準）
- ・文字：ハングル

◎文字（ハングル）… 基本的な子音と母音

子音

ㄱ [k/g]	ㄴ [n]	ㄷ [t/d]	ㄹ [l/r]	ㅁ [m]	ㅂ [p/b]	ㅅ [s]
ㅇ [Ø/-ŋ]	ㅈ [tʃ/dʒ]	ㅊ [tʃʰ]	ㅋ [kʰ]	ㅌ [tʰ]	ㅍ [pʰ]	ㅎ [h]

母音

ㅏ [a]	ㅓ [æ]	ㅗ [ja]	ㅜ [jæ]	ㅑ [ʌ]	ㅕ [e]	ㅛ [jʌ]	ㅠ [je]	ㅡ [o]
ㅘ [wa]	ㅙ [wæ]	ㅚ [we]	ㅝ [jo]	ㅞ [u]	ㅟ [wʌ]	ㅢ [we]	ㅣ [wi]	ㅦ [ju]
ㅣ [i]	ㅟ [ij]	ㅢ [i]						

☞ 一つ一つの文字が音節を表すが、子音と母音の組み合わせで文字を構成します。

Ex) 나비：蝶々 → 나 (na) 비 (bi)

◎特徴

ハングルの特徴

- ・世界に存在する文字の中で唯一、作った人と文字の原理まで知られている。
- ・1997年にユネスコ・世界記録遺産として登録された。
- ・発声器官の型をとって作られた。

韓国語の特徴

- ・分かち書きが重要！
- ・敬語が多い。
- ・会話中によく主語が省略される。

◎日本語との共通点

- ・単語の60%以上が漢語なので、音読みが日本語と似ている。
- (例) 無理 무리 (ムリ)、基準 기준 (キジュン)、料理 요리 (ヨリ)
- ・文法が同じ！（特に語順）

◎おすすめドラマ

미생 (未生)

碁が人生のすべてだった主人公がプロの囲碁棋士になれず、冷酷な現実に向直し、その中で生き残ろうとする物語（2014年12月20日放送終了）



会社を背景に、とても現実的に描かれていて、韓国社会を間接的に知ることができます。そのため、社会の共感を呼び、今年の下半期、韓国で一番注目を浴びたドラマです。

♪音楽♪

韓国では多くのアイドルグループが大人気で、世界中で活躍しています。そのなかでいくつかのグループをピックアップしたいと思います。テンポがよくノリのよい曲ばかりなので、覚えやすく、気が付けば韓国語で曲を口ずさんでいることでしょう。

소녀시대 (少女時代)

少女時代は日本でもとても人気な女性アイドルグループで知っている人も多いかと思います。2009年にリリースした「Gee」が大ヒットし、韓国のトップアイドルとなりました。

おすすめの曲

「Gee」・・・少女時代の代表曲。

「oh!」・・・全国のオッパたちをメロメロにした、チアリーダーをイメージした可愛い曲。

「kissing you」・・・キャンディをもって踊るダンスが印象的なかわいすぎる曲。

엑소 (EXO)

EXO は今、最も注目されている男性アイドルグループです。EXO は、太陽系外惑星を意味する「exoplanet」からモチーフを得た名前で、" 未知の世界から来た新たなスター " という意味が込められています。またメンバーそれぞれに超能力が設定されています。

おすすめの曲

「늑대와 미녀 (wolf)」…オオカミ少年に変身したメンバーが森の木、オオカミの洞窟など全体的な雰囲気を表現した動作で、ミュージカルを連想させる、とてもカッコいい曲です。

「으르렁 (Growl)」…恋愛初期の駆け引きが描かれていて、パフォーマンスの完成度がとても高いとてもカッコいい曲。

「중독 (overdose)」…중독とは中毒という意味で、愛という甘い罠にはまったある男の心情を描いている、アーバン R&B スタイルのダンスナンバー。

(文責：金 雲喬；キム ウンキョ、岡浦 愛)

ちよちよコラム

Hänschen klein (ドイツ民謡)

古いドイツの民謡で、メロディが日本の『ちょうちょ』と、とてもよく似ています。これは伊沢修二がアメリカ留学中に音楽教育者メーソンからこの曲を教わり、日本の音楽教育の教材として使うために日本に持ち帰ったものと考えられています (引用※)。

歌詞の内容は、幼いハンス君が冒険に出かけ、7年後に故郷に戻りますが、誰一人ハンス君だと気づかず、お母さんだけが気づいて、感動の再会をしたというものです。

※ <http://www.worldfolksong.com/songbook/germany/index.html>
(詳細は64頁)

汉语（中国語）



突然ですが、中国語で“手紙”はどんな意味か知っていますか？
そのままの手紙って意味？もちろん答えはノーです。同じ漢字ではありますが、中国語だと“トイレットペーパー”という意味になるんです！皆さん知っていましたか？同じ漢字なのに、違う意味を持つ中国語ってどんな言語なのか、気になりませんか？

このページでは日本のお隣の国で使用されている言語、中国語の魅力を伝えていきたいと思います。言語としての中国語の魅力は大きく3つあると思います。まず、中国語は世界最大である約12億人もの話者人口を有する言語であり、中国語を学ぶことで12億もの人々とコミュニケーションがとれるということ。そして2つ目に日本と同じ漢字を使用しており、大変なじみのある言語だということ。“手紙”のように、日中間で意味が異なっている場合もありますが、私たちは中国語を習っていないなくても、漢字から意味を何となく察することができます。中国語には簡体字と繁体字の2種類の表記があります。日本語に使われている漢字は繁体字に近いと言われていますが、これは主に台湾で使用されている表記で、中国大陆で使用されている中国語のほとんどは簡体字です。3つ目は、中国語が4種類の声調を持っているということです。中国語は、同じ読み方でも声調が変わると意味が全く違ってきます。また、声調によって発音が歌のように聞こえるとも言われます。例として早口言葉（ràokǒulǐng 绕口令）をあげたいと思います。

(例1) “Mā ma qí mǎ , mǎ màn , mā ma mà mǎ .妈妈骑马，马慢，妈妈骂马。”

“お母さんが馬に乗った。馬がのろいので、お母さんが馬をしかった。”

(例2) “Chī pú táo bù tǔ pú táo pí r , bù chī pú táo dào tǔ pú táo pí r .吃葡萄不吐葡萄皮儿，不吃葡萄倒吐葡萄皮儿。”

“ぶどうを食べたのにぶどうの皮を吐き出さない、ぶどうを食べてないのにぶどうの皮を吐き出した。”

中国語が面白いってわかって頂けましたか？

しかし、日本語と似ている部分があるとは言っても、発音が難しいと言われる中国語。

ここからは、楽しく中国語を学んでもらうために、映画やドラマ、音楽を紹介していきたいと思います。

ちびっこコラム

Ein Männlein steht im Walde (ドイツ民謡)

ヤマハのCMで「ドレミファソ、ラファ、ミレド」から始まるあの曲もドイツ民謡でした。作詞はホフマン・フォン・ファラーズレーベンさんです。歌詞の内容は、森の中で帽子をかぶった一本足は誰？といった、なぞかけです。さて、誰でしょう？

(ドイツ語については64頁)

♪音楽♪

若者に人気の歌手から、世代を超えて有名な曲まで。覚えて中国人とのカラオケで歌えれば人気者になること間違いなし☆

①日本の歌を中国人歌手がカバーしたもの

- ・「後來」劉若英…「未来へ」Kiroro
 - ・「小手拉大手」梁静茹…「風になる」つじあやの
 - ・「証明」五月天…「証」flumpool
- ※中国の歌を日本人歌手がカバーすることも！
- ・「我愿意」…EXILEのATSUSHIがカバー

②若者の間で人気の歌手

- ・周傑倫…アイドルの人気を誇るスーパースター！
- ・五月天…日本の歌手グループと一緒にライブを開いたことでも話題に。
- ・吳莫愁…2012年、中国の大人気オーディション番組「中国好声音」で優勝した弱冠22歳の実力派歌手！

③世代を超えて歌われる曲

- ・テレサ・テン（鄧麗君）「我只在乎你」…「時の流れに身を任せ」（日本語版）

◎イチオシ映画

「あの頃、君を追いかけた」（那些年，我们一起追过的女孩）

2011年に公開された台湾の青春ラブコメディー。「青春は、恥と後悔と初恋で作られる」、このフレーズがぴったりな大ヒット映画。1994年～2005年までの約10年間を描き、登場人物たちの成長と共に、社会は変化し、挿入歌も入れ替わっていく。そんな時代の空気を丁寧にすくい取ることで、甘酸っぱい“あの頃”の思い出が鮮明に蘇り、思わずきゅんっとするような作品。

その他に、中国語圏で絶大な人気を誇る俳優エディー・ポン（彭于晏）主演の「最後の晚餐」（分手合约）、幅広い世代から愛されている国民的女優ヴィッキー・チャオ（赵薇）とジョウ・シュン（周迅）のダブル主演の「画皮－あやかしの恋」（画皮）、ハリウッドでも大活躍している実力派女優チャン・ツィイー（章子怡）主演の「ソフィーの復讐」（非常完美）、日本でも大人気の台湾女優リン・チーリン（林志玲）主演の「101回目のプロポーズ」（101次求婚）もおすすめです！日本映画にもハリウッド映画にもない中国語圏ならではの「映画」を楽しんでみてはどうですか？きっとハマりますよ！！

（注）作品名は、「日本での作品名」（本題）と表しています。

◎中国・台湾の映画ドラマ

中国大陆では毎日ドラマが放送されています。日本とは違い、話数が多いのが特徴ですが、一日に何話も放送されたりするので、途中で飽きるなんてことはきっとないはず。ここでは、私たち編集委員のオススメの映画とドラマを紹介していきたいと思います。質問に答えて自分に合った映画やドラマを見つけてください！

Q1. どちらが好み？

恋愛もの→ Q2へ
スパイもの→ A へ

Q2. ラブストーリー といえど？

時代もの→ Q3へ
現代の恋愛→ Q4へ

Q3. 気になるのは どっち？

弁髪皇子→ B へ
神話→ C へ

Q4. 日本人の中国語を 聞きたい→ D

2PM ニックンが好き→ E
“地味婚”に興味がある→ F

A 与狼共舞 (Yǔlánggòngwǔ) (2012年)

スパイものとアクション要素がふんだんに盛り込まれた作品。
ハラハラドキドキすること間違いなし！

B 步步惊心 (Bùbùjīngxīn) (2011年)

現代の女の子が清朝末にタイムスリップして、宮廷女官として活躍していくお話。
弁髪姿の皇子の姿にも注目です！

C 封神榜 (Fēngshénbǎng) (2001年)

中国の神話をもとに作られたドラマ。殷王朝において様々な政治的思惑が織りなすストーリーに目が離せなくなること間違いなし！

D 流氓蛋糕店 (Liú máng dàng āo diàn) (2014年)

日本の女優、長澤まさみが中国語に初挑戦！元ヤクザがケーキ店を開くという設定にも注目です！

E 一又二分之一的夏天 (Yī yòu èr fēn zhī yī de xià tiān) (2014年)

韓国のアイドルグループ2PMのニックンが主演の恋愛ドラマ。
片想いの男の子が恋に突っ走る様子から目が離せません！

F 裸婚时代 (Luó hūn shí dài) (2011年)

地味婚をテーマにした恋愛ストーリー。現代の男女の関係をよく映し出しています。

(文責：村瀬 玲奈、岡浦 愛、松田 大輔、鍵山 裕香)



E n g l i s h (英 語)

英語は多くの日本人にとって一番なじみのある言語だと思います。しかし、皆さんは「英語の魅力は何？」と聞かれたとき、スラスラと答えることができるでしょうか？やはり、魅力をわかっていた方が学習に力が入ると思います。このページを読んで、少しでも英語の魅力に気づいてもらえると嬉しいです。

◎魅力

英語は、母語話者人口が世界第二位、そして公用語人口は世界第一位の言語です。だから、英語さえ話せれば旅行などに行ったときに困らずに済むでしょう。さらに、英語が母国語でない人たちとも、お互い英語を話せばコミュニケーションをとることができます。また、英語を理解できれば、洋楽や洋画などをより楽しむことができます。英語を勉強して損することはありません！！

◎おすすめのドラマ

Glee

歌って踊る合唱部「グリークラブ」の成長を描いた、全世界で大人気のドラマ。昔から愛されている曲から最新の流行曲まで、さまざまな曲がカバーされています！



♪ ドラマ内に登場するおすすめの曲 ♪

～ Don't Stop Believin' (Journey, 1981年) ～

Glee の代表曲とも言える一曲。ゆったりした曲調なので、歌詞も聞き取りやすいです。

～ Loser Like Me (Glee Cast, 2011年) ～

Glee のオリジナルソング。Glee の良さと個性が詰まった一曲です。ノリが良く、聞いていると元気が出ます！

ちょこっとコラム

History of English in Ten Minutes

The Open University が作成した、10分間でわかる英語の歴史についての動画です。

今の英語には様々な侵略の歴史が大いに影響していること、そして文法や発音が変わっていったことに気づき興味湧くかもしれません。



Full House

妻を亡くしたダニーが、親友ジョーイと義弟ジェシーと共に三人の娘たちを育てていくコメディドラマ。日本でも何度も放送された大人気作品です。

◎ Full House から、使える日常会話を学ぼう

Full House は、子どもでも楽しめるように、あまり難しい表現が使われておらず、内容も分かりやすいので、英語の学習教材としては最適です。ドラマを楽しみながら便利な口語表現を学びましょう！

その際に、同じエピソードを何度も見るとより効果的です。

- ①日本語吹き替え：ストーリーを把握する。
- ②字幕、英語音声：英語を聞き取ることを心がけ、できるだけ字幕を見ないようにする。
- ③字幕なし、英語音声：自分が内容を理解できているか、聞き取れているかを確認する。

このように、何度もくりかえし見ることでリスニングの練習になり、同時に様々な表現も学ぶことができます。

次に、Full House に出てくる便利な表現の一例を紹介したいと思います。

「What a pain：不便な」

(例) My new house is a long way from the station.

It takes more than 30 minutes. What a pain!

(私の新しい家は駅からとても遠くて、30分以上かかるの。すごく不便！)

皆さんもぜひ、英語を楽しく学べる方法を自分なりに見つけてみてください！

(文責：利 百仁花)

ちびっこコラム

Dans la foret lointaine(フランス民謡またはスイス民謡)

『静かな湖畔』日本で知られている曲です。発祥国は不明ですが、題名はフランス語で『遠くの森の中で』という意味です。カッコウの声が、フランス語でどのように発音されているか、聞いてみてください。

(フランス語については62頁)

E s p a ñ o l (ス ペ イ ン 語)

◎基本情報

スペイン語は、スペイン・中南米・北米など20か国以上で使われていて、国連の公用語にもなっている主要な言語のひとつです。母語話者は4億人以上で世界4位！

◎魅力

世界の多くの地域で通用することに加え、スペイン・ラテンアメリカには陽気で明るい人が多いので、スペイン語を話すことでその雰囲気に触れられます（^ - ^）ラテン文化の人たちはサルサなどのダンスが大好き。パエリアなどのスペイン料理はとても美味しいです！

文の構造や単語は英語と似ていて、読み方はローマ字に近いので日本人にとっても学びやすく、イントネーションが独特で、響きがきれいなので学んでいて楽しい！

♪おすすめの音楽♪

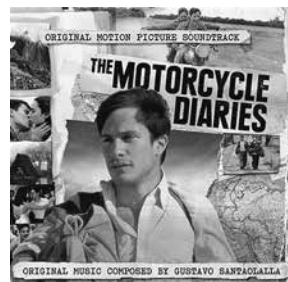
- ・ Ricky Martin ^{アディオス} "Adios"
- ・ Shakira ^{エス ト イ ア キ} "Estoy Aquí"

◎おすすめ映画

"The Motorcycle Diaries (Diarios de Motocicleta)" (2004年)

革命家チェ・ゲバラの若いころの南米旅行記をもとに作られた映画であり、アルゼンチンの医大生と科学者である若者二人がバイクに乗って南米を旅し、様々な社会問題に直面することで、自分がこれからすべきことを見つけ出していくストーリー。笑えるポイントもたくさんあり、南米の楽しい雰囲気も感じられるのでおすすめです！

主題歌である" ^{アイ オートロ ラド デル リオ} Ai Otro Lado del Río" はアカデミー賞歌曲賞を受賞しました！



◎おすすめ参考書

- ・『驚くほど身につくスペイン語』 高橋書店
- ・『ゼロからスタート スペイン語』 ジェイ・リサーチ出版



◎基本スペイン語

- ・ ^{オラ} ¡Hola! やあ！
- ・ ^{ム チャ ス グラシアス} ¡Muchas gracias! 本当にありがとう！
- ・ ^{ク ア ン ト ク エ ス タ} ¿Cuánto cuesta? いくらですか？
- ・ ^{エ ス ト ボ ル フ ァ フ ォー ル} Esto, por favor. ください。
- ・ ^{フェ リ シ ダ デ ス} ¡Felicidades! おめでとう！
- ・ ^{チャ オ アディオス} Ciao. / Adios. さようなら。

スペイン語の疑問文・感嘆文は、文章の初めと終わり両方に！や？をつけます。

(文責：土居原 優希)

F r a n ç a i s e (フ ラ ン ス 語)

ここでは、フランス語について知りたい、興味がある、第二言語の選択に迷っている、学んでみたいなど、様々な人に向けてフランス語の魅力を紹介していきます！

◎フランス語とは？

フランス語は、世界公用語ランキング2位！36カ国で使用されています。2億2,000万人の使用人口を誇り、世界の使用言語ランキング8位！（参考※）アフリカ大陸の国々で多く使用されていて、フランス国内よりその割合が高いことが特徴です。フランス語の需要は衰退しているのでは？と疑問に思っていたかも知れませんが、活躍が期待される言語なのです。

※出典 <http://www.ambafrance-jp.org>

◎魅力

アフリカの国々の中には、フランスによって植民地支配されていた歴史をもつ国があります。そのため、アフリカ大陸でのフランス語使用率が高く、開発が進められている国々での活動に携わる際に役立つ可能性があります。また、国連などの多くの国際機関で公用語に指定されているためグローバルに活躍したい人は注目かもしれません。そして、フランス語使用者や学習者が多いので、言語を通じた交流の機会が増える可能性も！なんといっても、フランス語の発音の美しさが魅力という人もいれば、とりあえず話せるとかっこいいと思う人も多いのでは…。フランス語は魅力満載の言語です。

◎身近なフランス語

実は、普段使っている言葉の中にフランス語が多くあります。例えば…

- ・メトロ métro
- ・プチ petit
- ・アンケート enquête
- ・モンブラン mont-blanc
- ・クロワッサン croissant

まだまだ沢山ありますよ。皆さん知っていましたか？

◎フランス語で何ていうの？

- ・こんにちは = Bonjour. (ボンジュール)
- ・ありがとう = Merci. (メルシー)
- ・どういたしまして = De rien. (ドゥリアン)
- ・おいしい = C' est bon. (セボーン)
- ・おやすみなさい = Bonne nuit. (ボンヌヌイ)

ちびっこコソム

J' ai perdu le do ma clarinette (フランス童謡)

『クラリネットをこわしちゃった』日本でもよく歌われる、子供向けの曲です。どんどん音が出なくなっていくクラリネット。そしてリズムに乗れない男の子の曲です。繰り返し出てくる「オーパッキャマラード パオパオパ！」は、お父さんが、男の子に「リズムに乗るんだ！」と言っているのです。

ここからは、フランス語を扱う多くの作品の中で、おすすめのものを紹介していきます。

◎映画

・「アメリ」(2001) (原題: Le Fabuleux Destin d'Amélie Poulain)

フランスで人気の女優 Audrey Tautou が出演しています。パリの街並を見ることができ、映画を見た後は何だか幸せな気分になれるかもしれません。

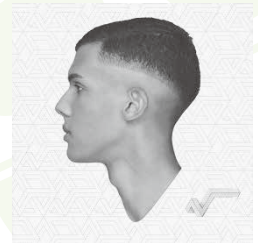


・「最強のふたり」(2011) (原題: Intouchables)

実話に基づいた笑いあり、涙ありの作品です。第24回東京国際映画祭グランプリ、主演男優賞 W 受賞しました。

♪音楽♪

- ・ Stromae はヨーロッパで大人気!! ベルギー出身の彼がフランス語で歌っています。特に「Alors on danse」という曲はフランスで知らない人はいない?といわれる程です。
- ・ Christophe Maé はフランスで人気のシンガー・ソングライター! 2007年に発売した1st アルバム「Mon Paradis」は150万枚の大ヒットを記録しました。
- ・ フランスの音楽で外せないシャンソン。中でも、「Les Champs-Élysées」(オー・シャンゼリゼ)は有名です。リズムがゆっくりで歌詞が聞き取りやすいです。



◎参考書

- ・『プチ・ロワイヤル仏和辞典』(旺文社)
フランス語の先生が学習者に一押しする辞書です。
- ・『フランス語をひとつひとつわかりやすく。—超基礎からの個人授業』(学研教育出版)
タイトルにもあるように、フランス語を初めて学習する人や、今までに習ったことの復習をしたい人などに分かりやすい説明をしてくれている一冊です。

フランス語の魅力を感じて頂けましたか? フランス語に触れるきっかけや、学習の息抜きなどに活用して頂けたら幸いです。

(文責: 岡田 笑佳)

ちよつとコラム

Ah! vous dirais-je, Maman (フランス民謡)

シャンソンとしても知られるこの曲は、日本で知られている『きらきら星』の原曲です。この曲はモーツァルトを始めに、たくさんのクラシック音楽家が彼らの楽曲の中できらきら星のメロディを取り入れています。題名は「ああ、話したいのママ」という意味で、日本に入ってくるときは、英語の『Twinkle Twinkle Little Star』から伝わりました。

歌詞の内容は、女の子(男の子という説もある)がお母さんに、お父さんは勉強をしろというけれど、私はキャンディの方がいいわ、というもの。

D e u t s c h (ド イ ツ 語)

私は日本語コースの金ナリンと申します。日本語が大好きで日本に留学に来たのですが、ドイツ語と恋に落ちてしまいました（浮気?!）ので、ここで「ドイツ語」を担当することになりました。ドイツ語はドイツ、オーストリア、スイス、リヒテンシュタインなどの国の公用語です…。こんなありふれた紹介はつまらないですよね？その代わりに私が個人的に惹かれているところを紹介したいと思います。ドイツ語はカッコよくて美しい言語です！さあ行きましょう！

◎ドイツ語はカッコいい（ドイツ語の発音の特徴）

ドイツ語の発音はカッコいいとよく言われます。その理由を英語と比較しながら説明したいと思います。ドイツ語は英語と比べて息が出る（または唾が出る?）発音が多いです。このような発音ははっきりしていてなぜかインパクトがあるんですね（だからカッコいいと思われるようです）。ドイツ語はこのような発音で始まったり終わったりする場合があります。たとえば始めには sch（シュ）、sp（シュプ）、st（シュト）などがあり、終わりには ch（ヒ、ハ）、t、k などがあります。英語と比べて無声音で終わる場合がありますが、それは英語とは違って d が最後にきたら t、g が最後にきたら k と発音するからです。そして英語の v はドイツ語で f、そして z はツと発音します。確かにドイツ語は無声音の頻度が多いのではないかと思います。

・英語との比較（ドイツ語は英語と比べてもっと息が出る傾向がある）

	英	独
学生	student スチューデント	Student シュトゥーデント
お父さん	father ファーザー	Vater ファーター
踊り	dance ダンス	Tanz タンツ

・英語にない発音

ich イッヒ（私は）
Nacht ナハト（夜）

でも唾が出るから、汚いと思う人もいるらしいです（笑）。

◎ドイツ語は美しい（ドイツ語の韻 [ライム、英 rhyme、独 Reim]）

私は高校生の時にドイツ語を勉強し始めたのですが、そのとき先生に「ドイツ語の歌を聞くときには韻に気を付けて聞くと面白いよ」と言われました。ドイツ語はほかの言語と比べて韻を踏みやすい特徴を持っていますけれども、ドイツ人はどうも韻を踏むのが大好きみたいです。

ドイツの民謡の Hänschen klein の一節を紹介します。日本の「ちょうちょう」とメロディが似ています。二行ずつ比べながら見て（聞いて）ください！

Hänschen klein, ging allein,

小さなハンスちゃん、たった一人で

ヘンスヒェン クライン、ギング アライン

in die weite Welt hinein;

広い世界の中へ出て行く

イン ディ ヴァイテ ヴェルト ヒナイン

Stock und Hut stehn ihm gut,

杖と帽子がよく似合う

シュトック ウント フート シュテーン イーム グート

er ist wohlgemut.

エア イスト ヴォール・ゲムート

Aber Mutter weinet sehr.

アーバー ムッター ヴァイネット ゼーア

hat ja nun kein Hänschen mehr.

ハット ヤー ヌン カイン ヘンスヒェン メーア

„Wünsch dir Glück “, sagt ihr Blick.

ヴンシュ ディア グリュック ザークト イーア ブリック

„kehr nur bald zurück!“

ケーア ヌア バルト ツウリュック

出典 : http://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q1338258058 strassaboh さん

彼は意気揚々

でも母さんはたくさん泣く

もうハンスちゃんがないのだから

「幸運を祈るよ」と彼女の眼差しが言う

「どうか早く戻って来ておくれ」

韻がたくさんですごいと思いませんか？私はこのような韻にドイツ語の美しさがあると思います。

◎ドイツ語は何でもかんでもくつつける

ドイツ語を勉強しながら一番おもしろかったのはどうしてもなく長い単語でした。英語では分別書法するはずの単語をくつつけてしまいます。長~~~~い単語を見ていると笑い出してしまいます。

たとえば、こんなのがあります

Straßenbahnhaltestelle 路面電車の停留所

(Straßenbahn 路面電車、halte 停車する、stelle 場所)

が、これは大したものではありません。

こんなに長いものもあります。

Donaudampfschiffahrtselektrizitätenhauptbetriebswerkbauunterbeamtengesellschaft

ドナウ汽船電気事業本工場工事部門下級官吏組合

この単語はこのように分けられます。

Donaudampfschiffahrt	S	Elektrizitäten	Haupt	Betriebswerk
ドナウ汽船	の	電気（事業部）	主要	工場

Bau	Unterbeamten	Gesellschaft
工事（建設）	下級公務員	組合

これは一つの名詞です。すごいでしょ！

◎ドイツ語が私を勉強する？（語順の自由さ）

「私はドイツ語を勉強する」は Ich lerne Deutsch (I learn German) です。じゃ、Deutsch lerne ich は何でしょうか？私は初めてこの文を見て「ええっ？ドイツ語が私を勉強する？」とびっくりしました。実はこれも Ich lerne Deutsch と同じように「私はドイツ語を勉強する」です。ドイツ語は動詞が二番目に来たらその後はかなり自由です。強調する語を前に持ってくればいいです（もちろん何もかも前に来ることのできる訳ではありません）。さっきの Deutsch lerne ich は「ドイツ語を、私は勉強する」で、数多くの言語の中でドイツ語を勉強する、ドイツ語は私にとって特別な意味を持つということを強調するのです。ちなみに「ドイツ語が私を勉強する」は Deutsch lernt mich になります。

◎ドイツ語の文法は難しい? いや、そうでもないよ (豊かな変化)

ドイツ語は変化が多いから難しいとよく言われます。動詞が変化することは英語にも見られるからいいです。でも、冠詞、形容詞、名詞も変化します。すごい! さらに聞いたこともない強変化、弱変化という変化もあります。

確かにドイツ語の文法は覚えなければならないことが多いですが、かなり規則的ですので、2年間文法で苦労したら、後は単語を覚えるだけで楽だとドイツ語の先生が言ってました。さらに時制も英語に比べて非常に楽です。これを見ると、確かにドイツ語は学びやすい言語かもしれませんね。

◎分離動詞

分離動詞はドイツ語の非常に特殊なところですよ。これは文字通り分離する動詞のことです。百聞は一見に如かず。まず例を見てみましょう!

aufstehen 起きる (↑は分離動詞の分離する部分を表します)

Ich stehe auf. 私は起きる。

英語だったら I get up になるでしょうけれども、英語に upget という単語はありませんね。動詞が分離するなんて聞いたこともないんですよ。これもドイツ語の面白いところだと思います。

◎ドイツ語のミュージカルおすすめ!

ドイツ語のミュージカルと言ったら脚本・作詞のミヒャエル・クンツェ、音楽のシルヴェスター・リーヴァイの二人のミュージカルが一番有名です。日本でもこの二人のミュージカルはすごく人気があります。『エリザベート』『モーツァルト!』『レベッカ』『マリー・アントワネット』などが公演されています。私はその中でレベッカとエリザベートを見ましたけれども、すごく面白かったです。超おすすめします!

Rebecca (レベッカ)

ミステリアスな事故で婦人のレベッカを失ってトラウマを持っているマキシム・ド・ウィンターはある日、フランスで「わたし」と会って一目ぼれして結婚する。で、二人はコーンウォールのマキシムの屋敷、マンダレイで過ごすことになった。

が、死んだレベッカだけがこのマンダレイにふさわしい婦人だと思っている執事のダンヴァース夫人やほかの下女たちは新しい婦人の「わたし」を認めない。「わたし」は不安と引け目でイライラしながら毎日を過ごしていたが、ある日、レベッカの死体が発見されることによって事態は急変する。レベッカの死にまつわる秘密とは何か、「わたし」とマキシムはレベッカの影とどう戦うか。気になる方はぜひぜひみてください!



ダンヴァース夫人、「わたし」、マキシム



レベッカの部屋、ダンヴァース夫人と「わたし」

♪代表的な曲

Rebecca (Reprise) (レベッカ) ダンヴァース夫人、「わたし」

Ich hab geträumt von Manderley (マンダレイの夢を見ました)「わたし」

Gott, warum? (神よなぜ) マキシム

Der Ball von Manderley (マンダレイの舞踏会) アンサンブル

Elisabeth (エリザベート)

オーストラリアの皇后のエリザベートの不幸で空しくて仕方がない人生を表している、夢も希望もないミュージカルです。宝塚歌劇団のものはもとのオーストリアのものとは違ってラブストーリーに変わりました（私は両方とも好きです）。

このミュージカルは時代と選択といった運命の力によってどうしても沈んでしまった一人の人間をうまく描いた作品だと思います。



エリザベートと皇帝



エリザベートと死 (Tod、トート)

♪代表的な曲

曲名は本題, (邦題), 作中で歌っている人で表しています。

- ・ Ich gehör nur mir, (私は私だけのもの), エリザベート

8国のエリザベートが各自の言語でこの曲を歌うビデオもあります。ぜひ見てください！

<http://youtu.be/WmCBc6z7ikA>

- ・ Der letzte Tanz, (最後のダンス), 死 ← 私が一番好きな曲です！
- ・ Die Schatten werden länger (Reprise), (影は長くなっていく), 死、ルドルフ (エリザベートの息子)
- ・ Kitsch, (キッチュ), ルキーニ
- ・ Boote in der Nacht, (夜のボート), エリザベート、フランツ (皇帝)

どうでしたか？皆さんがドイツ語の魅力を分かってくれるように、面白く書こうと努力しましたが、私の日本語が不十分なため、思ったよりずっと面白くない文になってしまいました。「ああ、残念！日本語を4年間勉強したのにまだまだだな！」と、しみじみと感じています。

(文責：金 ナリン)

ちまっつとコラム

You Tube から Pick UP!!

『ドイツ語と他の言語を比較してみた (How German Sounds Compared To Other Languages)』

Copy Cat Channel (ベルリンに住んでいる Felix と Marius) が作成した、ドイツ語の発音を面白おかしく紹介している動画です。文化の違いにおけるステレオタイプイメージの中から、面白いものを選び紹介している (動画紹介文より) そうです。

コメディとして作られているので、極端な表現がされていますが、ドイツ語に興味を持つきっかけになるかもしれません。

不思議な言語 ピダハン語

～未来・過去や数字に解放された世界～

1. ピダハン語ってなあに？

アマゾンの奥地に暮らす、都会から引き離された400人にも満たない少数民族ピダハン。彼らが話す言語が、ピダハン語です。ピダハン語は、他言語と類似性がほとんどみられない珍しい言語として、様々な面白い側面を持っています。さっそく見ていきましょう！

2. ピダハン語は、驚きであふれている

・数字がない！？

ピダハン語には数字がありません。1、2、3、4・・・といった、数えるということをしなないのです。彼らは代わりに、一本の枝は、「枝」と言い、二本の枝は、「少し量の多い枝」と表現するのです。なんだかとってもアバウトですね。でも、それで彼らには十分なのです。

・色を表す単語がない！？

多くの言語に見られる要素である、色彩を表す単語（赤、青、黄など）もピダハンにはありません。赤なら「血みたいな」になって、緑なら「まだ熟していない」となり、説明的に表現するのです。きっと、色の名前はなくても生活には全く支障がないのでしょう。

・「ありがとう」「ごめんなさい」っていらないの！？

ピダハン語の表現には、大まかに分けて、3種類の表現があります。質問をして情報を得るもの、新しい情報を伝えるもの、そして命令をするものです。この中には、「ありがとう」や「ごめんなさい」といった人間関係を支えるコミュニケーションがありません。じゃあ、ピダハンの人は礼儀知らずなのか、と思われるかもしれませんが、しかし、ピダハン語にこのような言語使用がなくても、ピダハンの人々は、言葉ではなく行動で感情を示すのです。ちゃんと、感謝の気持ちを親切な行動や贈り物で表しますし、謝意や罪悪感も行動で表します。

私たちは普段「ありがとう」「ごめんなさい」を言う時、起こったことを簡単に言葉で完結させてしまっ、実際、行動やお返しをすることはほとんどないですね。もしかしたら、ピダハンの人たちと比べて、薄情者なのは私たちの方かもしれません。言葉は便利だけれども、行動することを忘れないようにしたいですね。

・音の数が11個！？

ピダハン語は声調言語です。声調言語とは母音の音が高いか低いかで単語の意味が全く異なってくるのが特徴なのですが、具体例を挙げると、ピダハン語では「私」と「排泄物」を表すスペルは全く同じで、ただ、どの音を高くもしくは低く発音するかという違いだけで、この2つの単語は使い分けられているのです。間違えて発音したら大変です。声調言語のピダハン語には母音が3つと子音が8つしかありません。そのため、個人的に音声で彼らの話を聞いてみても、同じような単語を繰り返し言っているように聞こえてしまいます。でも、日本語でも「はし」という時に、「は」の音を高くするか低くするかで意味が全然違います。これをみるとピダハン語は私たちと全く異なる言語ではないように思えますね。

3. 「今」を生きるピダハン

ピダハンの人々は、遠い将来のことや過去のことを話しません。話す必要がないのです。なぜなら、「今」を生きているから。ピダハンには、未来のことを悩んで苦しんだり、過去のことを悔やみ後悔したりは決してせず、いつも最高に楽しそうに、「今」を生きています。だから、その日より先の計画を立てたり、食料を保存したりしません。そして、ジャングルの農産物をかき集めて、ようやく交易商人に交換してもらった農具を川に投げ込んだり、置きっぱなしにしたりしても平気なのです。手編みのかごも使い捨てです。

しかし、だからといってピダハンが怠け者だということではありません。彼らは、幼いうちから、社会で大人と同じように扱われ、生きるために毎日を必死に生きています。ピダハンの生活は死と密接した場所にあり、栄養失調で亡くなる子供や、出産の際命を落とす女性。マラリアに苦しめられ他界する人など、私たちが想像できないほどの近さで「死」と向かい合って、生きています。朝から日が沈むまで、生きるために働く彼らは、とても熱心な働き者なのです。また、ジャングルが危険ということもあり、彼らは寝ることを嫌い、男性は「俺は眠らない」という言葉をよく使います。最低限度の睡眠だけを取り、後は町の人々とおしゃべりをして夜を過ごし、次の日、また働きに出かけるのです。

ピダハンには単純な現在形・過去形・未来形があるのですが、過去形や未来形が使われるときは限られています。誰かが死んだ話や、誰かから聞いた話を話すときに過去形を使います。しかし、このような話題はめったに上がりません。また、未来形を使う時は未来の話というよりは、今から何かする、という現在と関係が高いものが多いです。さらに、ピダハン語には完了形や、断言にならない埋め込み文が存在しません。つまり、「彼が帰るころ、私は料理をし終わっているでしょう」という表現（完了形使用）ができない上に、「背の高い男性が部屋にいる」ともいうことができないということです。この辺りは、少し専門的な言語学の話に入ってしまうので、興味のある方は、ダニエル・L・エベレットさんの本をお手に取って頂ければ宜しいかと思えます。

4. 最後に・・・

ピダハンの人々は、自分の行動が成功しても失敗しても笑い飛ばしてしまいます。狩りに行って、危うく死にかけたときも笑い飛ばして、大物を取ってきたときも笑い飛ばします。（でも、奥さんに浮気がばれたときは大人しく棒で叩かれます。一日中拘束されますが、叩かれているときでさえ笑顔です！）こんな、幸せな人々から、私たちが学ばなければならないことはたくさんあると思います。そして、一つの人間の生きるあり方として、何を信じて言葉と向き合い、生きていくかを探す、良いきっかけになるのではないのでしょうか？ 皆さん、ピダハン語に興味をもってくれましたでしょうか。もし、そうでしたら幸いです。

参考文献

『ピダハン—「言語本能」を超える文化と世界観—』

ダニエル・L・エベレット 屋代通子訳 みすず書房 2012年3月22日

（文責：大附 加奈）

できるかな？

言語マスター確認クイズ！

みなさん！今までいろいろな言語を見てきましたが、楽しんで頂けましたでしょうか？
では、今からここまでにでてきたいいくつかの言語について、簡単なミニクイズです！
さあ、あなたはいくつ答えられるかな？

◎英語についてのクイズ

- Q.1 英語の母語話者人口、公用語人口はそれぞれ世界何位でしょう？
- Q.2 Don' t Stop Believin' のカバーや Loser Like Me でおなじみの大人気ドラマの名前は？
- Q.3 Full House などのドラマを使って英語を学ぶ際に大切なのは、①②どちらでしょう？
①できるだけたくさんのエピソードを見る。
②同じエピソードを何回も見ると。

◎スペイン語についてのクイズ

- Q.1 スペイン語を母語として話す人はどれくらい？
①2億人 ②4億人 ③8億人
- Q.2 次のうちラテン文化じゃないのは？
①バエリア ②サルサ ③フラダンス
- Q.3 スペイン語で「ありがとう」は何と言う？
① Hola. ② Merci. ③ Gracias.

◎フランス語についてのクイズ

- Q.1 フランス語で「こんにちは」は何と言うでしょう？
① Merci. ② Bonjour. ③ Hello.
- Q.2 ヨーロッパで人気の歌手 Stromae は何語で歌っているでしょう？
①スペイン語 ②英語 ③フランス語

◎ドイツ語についてのクイズ

- Q.1 ドイツ語が公用語でない国はどれ？
①ハンガリー ②リヒテンシュタイン ③スイス
- Q.2 Deutsch lerne ich の意味はどれ？
①ドイツ語が私を勉強する。
②私はドイツ語を勉強する。
③彼はドイツ語を勉強する。

◎ピダハン語についてのクイズ

Q.1ピダハンはどこに住んでいる？

Q.2ピダハンの人々が「ありがとう」「ごめんなさい」を言うかわりにすることは？

Q.3ピダハン語は優れた言語なの？それとも劣っている言語なの？

答え

【英語】 Q.1 母語話者人口：世界2位、公用語人口：世界1位

Q.2 Glee Q.3 ②

【スペイン語】 Q.1 ② Q.2 ③ Q.3 ③

【フランス語】 Q.1 ② Q.2 ③

【ドイツ語】 Q.1 ① Q.2 ②

【ピダハン語】 Q.1 アマゾンの奥地（ジャングルの中）

Q.2 贈り物を贈るなどの、行動で示す。

Q.3 答えは、あなたの心の中に・・・。

どうでしたか？世界のいろいろな言語を見てみて、言語に対する見方が変わりましたか？新たな発見を見つけて、言語がとっても楽しく奥が深いものだと感じて頂けたら幸いです。

また、言語を見ることで、その言語を話している人々のこともわかってくるという素晴らしいメリットにも気づいて頂けたでしょうか？話している人たちが、その言語に日々手を加えて、言語は進化し続けています。言語を学ぶというのは言語の進化を目の当たりにできるわけですから、なんだかワクワクしてきませんか？

世界にはまだまだたくさんの言語（ことば）があります！公用語として使用されていない言語は数えきれないほど……。普段触れたことのない言語に、興味を持ってみるのも良いのではないのでしょうか？ことばって楽しいんだ！と、少しでも感じて頂けたら嬉しい限りでございます。

（文責：大附 加奈）

ちほこっとコラム

『Let It Go - Behind The Mic Multi-Language Version (from "Frozen")』

世界中で吹き替えが行われたすべての言語、25カ国語の"Frozen"を、つなぎ合わせてつくられた動画です。発音の違いや言葉の響きの美しさを感じてみてください。

～ GC 生に聞いてみた！～

言語学習のコツ

みなさんこんにちは！ みなさんは普段どんな方法で外国語を学習していますか？ ここでは、GC 学部生に聞いた、おすすめの勉強法をご紹介します！ 皆さんも楽しく語学マスターになりましょう♪

英語編

◎ TED や Podcast などアプリを使って空き時間に英語に触れる

通学時間や、授業の空きの時間を使い、有名なプレゼンを配信している TED で自分の興味のある内容についてのプレゼンを見て、英語力やプレゼン能力 UP！ また、Podcast では海外のニュースや様々な著名人の番組、またハーバード大学の有名なマイケル・サンデル教授の講義シリーズなどを動画、または音声で見ることができます。

◎好きな映画を英語音声の英語字幕で見る

日本語字幕ではなく、英語音声に英語字幕で見ることがポイント！ 聞いているだけではよくわからないネイティブの会話や言い回しを文字で見ることによって、内容をより理解することができます、聞いているだけでは知ることが出来なかった新しい知識を得ることができます。

◎ Youtube で自分が興味をもった海外の Youtuber のチャンネルを見る

海外には日本以上に自分で動画を作り、配信している人が多く、様々なジャンルの動画があります。特に女の子におすすめなのが、自分のコーディネートや、お部屋、また料理などを紹介している動画。OOTW (Outfit Of The Week: 一週間のコーディネート) や、Room Tour (お部屋紹介)、Morning Routine (日々の朝の過ごし方) などのキーワードで検索するとたくさん出てきます！

◎英語で日記をつける

いくら知識を蓄えても、それをアウトプットしないと使える英語にはなりません。英語で日記を書くことを習慣にし、日々自分の思いを言葉にする練習をすることによって、実際のコミュニケーションの場でも、自分の言いたいことがすらすら出てきやすくなります。

◎英語を話す人と友達になり、積極的にコミュニケーションをとる

実際に英語でコミュニケーションをスムーズにとれるようになりたい！ と思ったら、実践あるのみ！！ 英語を話す人と友達になったり、また、英語を話す“場”に積極的に参加したりして、日本にいながらも英語でコミュニケーションをとり、英会話力を向上させましょう。

中国語編

基礎さえガッチリ固めれば中国語は難しくない！ 中国語の文法は英語やほかの言語の文法と比べて圧倒的にシンプルで理解しやすく、また日本語話者は漢字ができるので中国語を学ぶ上でアドバンテージがあり、とっつきやすいと思います。では、基礎をどのように学べば身に付きやすいのか。おすすめの勉強方法を紹介しますので、ぜひ参考にしてください！

文法は授業の内容をしっかりとこなせば大丈夫。ただし、授業を疎かにしたら大変なことになりますよ！そして、中国語を学ぶ上で一番大事でネックとなるのが発音と声調。ここをしっかりと押さえればあと楽チン！

◎教科書のCDを活用する

授業内の発音練習だけでは全然足りません！毎日CDを聞いて中国語の音に慣れましょう。聞きながらリピートしたり、シャドーイングしたりすると効果倍増！最初はひたすら聞いて、声に出して発音と声調を身に染み込ませよう！



◎中国語圏のドラマや映画を見よう

授業内容はどちらかというと体系的な中国語。これをマスターするのは最低条件ですが、ドラマや映画は実用的な中国語が使われていて、実際の発音や声調、語句の正しい使い方を学ぶことができます。そしてドラマや映画は中国の現状をリアルに面白く描いたものが多く、今の中国を知る一つのツールにもなります。まさに一石二鳥！

アルク出版のキクタンの単語帳がおすすめ。リズムの良いチャンツを聞いているといつの間にか頭に単語が入ってきちゃいます！初級から上級編までそろっています。

◎日中交流のイベントに参加してみる

中国語を学び始めて、そろそろモチベーションが下がってきてつまらないなあと思ってきたら、ぜひとも学生団体が企画した日中交流会に参加してみよう！勇気を振り絞って中国語圏の留学生と喋ってみると、本場の中国語を実際に聞くこともでき、喋ってみて、いい刺激になること間違いなし！友達の輪も広がりますよ！

日本語編

◎新聞活用法

まず、日本の新聞の記事をノートに書き写します。書き写した日本語を母国語に訳します。それをまた日本語に訳し直します。こうすることで、自分のことばの表現に何が足りないのか発見することが出来ます。もちろん、新聞の全てを書き写す必要はありません。記事ひとつでも構いません。語彙の宝庫である新聞を活用することで、日本語の書く能力がアップすること間違いなしです！

◎日本のドラマを見る

日本のドラマやアニメを見て日本に興味を持ったという留学生は少なくありません。教科書に出てくる日本語は、日本人が普段使わないような堅めの表現もあります。日本のドラマを見て、自然な会話を習得しましょう！

◎日本人の友達をつくる

やはり一番の日本語上達法は、日本人と話すこと。どんどん日本人に話しかけて、生の日本語を身につけていってください！周りに話しかけられるような人がいないときには、学内の国際交流企画に参加するのも手ですよ！

(文責：須田 詩、松田 大輔、鍵山 裕香)

Canada - Wolfville (ウルフビル)

みなさん、こんにちは。英語コース3回生の冬木里歩です。私の留学先の Acadia 大学および Wolfville について紹介します。

Wolfville は、カナダの東側にあるとても小さな街です。大学まわりの街も小さいですが、スーパーや薬局など生活に必要なものを売っている店は揃っていますし、カフェやレストランも充実しているので住みやすいと思います。また、アジア圏からの留学生が多数いるため、スーパーでは醤油やふりかけなどの日本の調味料や食べ物が売られています。蕎麦、うどん、椎茸や大根、ほんだしやカレールーまであったので、私は自分で日本食を作ってホームシックを紛らわせていました。



気候については、夏は適度に乾燥していて涼しく過ごしやすいのですが、冬はマイナス10度まで下がり、吹雪いた時もありました。冬は完全に道が雪で埋まりますし、外に出ると寒さで顔が痛くて仕方がなかったです（笑）。ですから、防寒対策は厳重にしてからの渡航をおすすめします。

次に、この大学は田舎にあるので娯楽がないと思っている方も多いと思います。しかし、バスで Halifax という大きな街へ行くこともできるので、休日は市街へ行って買い物などを楽しむことができます。また、Halifax には日本食を扱う店があります。めんつゆまで手に入るの、少し高いですがおすすめします。交通手段はバスです。本数は少ないながらも一応あります。

最後は、寮や食堂についてです。まず、最初は寮に入ります。寮の部屋はカード式オートロックとなっているため、カードを忘れないようにしてください。カードを忘れたまま、部屋の外に出てしまい、寒い真冬の深夜に、セキュリティオフィスまでパジャマで行ったことが何度ありました。そうならないように、気をつけてください。次に、ミールホールでの食事ですが、日本食が好きな人の口には合わないかもしれません（個人的な意見ですが、味が濃く、もたれた経験があるので…）。しかし、朝食のパンケーキとメープルシロップは美味しかったですよ。では、皆さんが Acadia 大学で楽しく生活を送れますように～。

（文責：冬木 里歩）



イギリス – Southampton (サウザンプトン) ……

みなさんこんにちは。英語コース3回生の廣江華蓮です。ここでは、私の留学先、イギリスのSouthampton 大学がある街、Southampton について紹介します。

Southampton は、ブリテン島の南に位置する街です。よくタイニック号の出港地として紹介されることがあります。そのため、街にはタイタニック博物館もありますよ。写真を見ても分かるように、広々とした、落ち着いた街です。港町として発展したところなのでフランスや世界各国に向かう船は多く行き交い、国際空港も街のすぐ近くにありますが、綺麗なビーチを想像して行くと、期待を裏切られるかもしれません。しかし、街全体として、中国人留学生をはじめとするアジア人がとても多く、Southampton の地元民もそのことに慣れているため、マイノリティー（少数民族）として肩身の狭い思いをすることは少ないと思います。



イギリスは、食事が美味しくない国として有名ですが、正直私もそれには不満を感じていました。ですが、中国人が経営するレストランでは本場の中国料理が安く食べられ、またテイクアウトもできるので、そういった所を選べば困らないと思います。また、Asda（アスダ）と Sainsbury's（セインズベリー）という、2つの大きなスーパーがあり、おせんべいや照り焼きソースなどの日本食も売っているので探してみてくださいね！

一般的な交通機関はバスです。おそらく、皆さんが契約する寮には、市全体をカバーする Uni-Lik というバスが無料で使えるバスカードがついているはずです。ですから、生活は大変便利です。余談ですが、留学中は、先ほど言ったバスカードが手違いで付与されないなどの思わぬハプニングが続出すると思います。自分一人で解決しようと動くことも大切ですが、まずは、現地の担当者に相談することをおすすめします。

最後になりますが、留学中は、おそらく2回の引越しをし、3箇所の寮で生活を送ることになると思います。引越しは、基本的に自分たちで行います。ですから、荷物は増やさないように心がけたほうがいいと思います。



（文責：廣江 華蓮）

中国 - 北京

大家好（みなさん、こんにちは）。中国語コース4回生の鍵山裕香です。私が留学していた北京の街についてご紹介します。

みなさんは北京といえば、大気汚染のイメージが強くありませんか。しかし、大気汚染のため霧がかかった視界の悪い日もありますが、ひとたび風が吹けば、青々とした空が見られます！日本の秋田県と同じ北緯40度に位置する北京ですが、寒暖の差がとても大きいのが特徴です。冬にはマイナス10度を下回ることもしばしばです。しかし、北京のほとんどの建物の室内には、暖気（ヌワンチー）とよばれる暖房機器が備え付けられているため、快適に過ごすことができます。

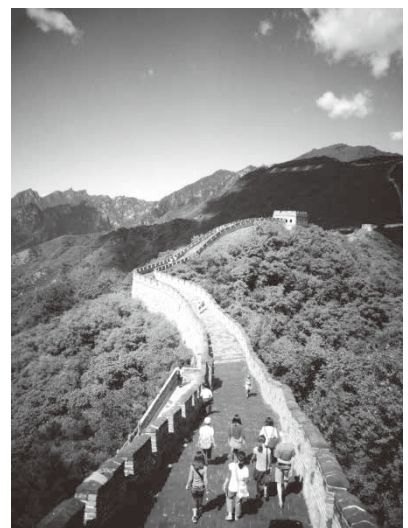


北京での主な移動手段は、タクシーとバス、そして、何といっても便利なのが、地下鉄です。初乗り3円で、距離で料金が変わるシステムです。日本の交通機関に比べれば、断然安いですね。北京には万里の長城や紫禁城など、計6つの世界遺産が登録されています。地下鉄やタクシーを駆使して、北京ならではの名所を回ってみてください。生で見る万里の長城の壮大さに圧倒されること間違いありません。道中タクシーの中で聞ける訛りの強い北京語もお楽しみに！

最後に食事について。ぜひ本場の中華料理を堪能してください！薬味たっぷりの火鍋に、北京ダック…。美味しすぎて、留学中に太った人続出でした！（かくいう私も。笑）北京には、外国料理のお店がたくさん出店しているので、万が一お口に合わない人も安心してくださいね。

私が留学生生活をスタートさせたのは、反日デモの頻発する2012年の夏でした。反日デモの影響が懸念されましたが、周囲の心配もなんのその。家族の話をしてくれる気さくなタクシーの運転手や、果物をおまけしてくれるおばちゃんなど北京では愉快な人にたくさん会いました。何気ない日常の会話から学ぶことも少なくありません。以上、お伝えした北京は、どれも私が実際に行ってみて初めて発見したことばかりです。みなさんも実際に北京に足を運んで、目で見て、耳で聞いて、口で話して、そして、舌で中華料理を満喫してくださいね。

（文責：鍵山 裕香）



日本 - 京都市伏見区 竹田

みなさん、こんにちは。日本語コース2回生のト可含です。私は京都市伏見区竹田に住んでいます。

ここには、京都市営地下鉄と近畿日本鉄道（近鉄）の竹田駅があります。竹田駅は、京都市交通局と近鉄が共同で運営しています。そのおかげで交通はすごく便利です。私はいつも竹田駅で地下鉄に乗って、京都駅や四条駅でのショッピングに行っています。そして、竹田駅で近鉄に乗って、京田辺校地の同志社大学に通っています。



竹田には、2つの大きな日本語学校があるので、外国人が多くいます。特に多いのは、中国人です。そのため、竹田の周辺には、様々な中国料理レストランがあります。私がよく行くレストランは、「常楽」と「鳳麟」です。「常楽」は中国の独特な料理がメインで、例えば豚足や豚の耳などの料理が多いです。「鳳麟」のメニューは「常楽」ほど独特ではありませんが、とても美味しく、中国の本場の味です。

また、竹田駅の近くには「力の湯」という温泉があります。私はよく友達と行っています。そこでは、温泉だけではなく、レストランもあります。自家栽培の野菜を材料にして、料理を作っています。すごく美味しいのに、値段も手頃です。風呂の後、おいしい料理を食べられるのは、すごく幸せなことです。

竹田周辺の観光地で、一番有名なのは伏見稲荷大社です。伏見稲荷大社の本殿は国の重要文化財です。神社建築としては大型に属し、本殿の棟から前拝への屋根が極めて長い「流造り」と呼ばれる様式です。まだ一度も見たことがないので、いつか時間があったら、ぜひ行ってみたいです。



(文責：ト 可含；ボク カカン)



日本 - 京都府京田辺市新田辺

みなさん、こんにちは。日本語コース2回生の朴書慧です。私が2年住んでいる新田辺について紹介します。

新田辺の魅力は、便利さが挙げられます。交通がすごく便利で、新田辺には近鉄の新田辺駅とJRの京田辺駅が徒歩5分の距離で位置しています。駅の前にはバスやタクシーもあります。2つの駅から大学正門まで運行するバスがあり、自転車や徒歩でも通学できます。また、駅周辺は美容室、コンビニ、喫茶店、飲食店、居酒屋、娯楽施設などが並んでいて、大学周りで一番賑やかなところです。だから、夜はどの店に行っても学生で賑わっています。



そして、新田辺は買い物にもすごく便利です。新田辺には、スーパーやコンビニ、ドラッグストアなどが意外に多く、その中でも「アルプラザ」という大きいショッピングセンターは私のお気に入りです。アルプラザには、いろいろな店が入っていて、飲食店や食品館、ドラッグストア、DAISO、本屋、家電・家具、服からアクセサリまで、まるでヨドバシカメラの縮小版ともいえるほど、多種多様な商品を取り扱っています。このショッピングセンターがあるので、みんなの生活が便利（豊か）になっていると言っても過言ではありません。そして、アルプラザのすぐ前には「良品買館」という総合リサイクルショップがあり、中古家電・家具や服などの多様な製品を安い価格で買うことができます。その他に、不動産屋、銀行、携帯電話会社なども駅

近くに位置していて、用事は何でも済ますことができます。

新田辺に住む前は、ただの田舎だと思っていましたが、大学に近いので、多くの学生が住み、賑やかな町ということがわかりました。新田辺に住んで、どの年代の人も住みやすい所だということに気付きました。そして、このような便利さだけではなく、朝、起きると、鳥の声が聞こえたり、山の香りがしたりするなど、自然も感じられ、素晴らしいです。

(文責：朴 書慧；パク ソヘ)



2014年度卒業研究テーマ

—英語コース—

Advanced Seminar 2 ① (担当 松木啓子)

足立 彩	Success in Business Through Ritual Communication
秋房千安紀	Media Ritual: The Formation of Shared Beliefs and Solidarity Through Broadcasting of Diplomatic Problems Between Japan and China
福井亜加梨	Ritual Enhancement of Solidarity in Muslim Community: Ramadan and Other Performances
葉山明理	Ritual Communications Among Children
早坂芽依	Ritual Communication in Japanese Funeral Practice
林久美子	Job Interview as Ritual Communication
平井郁絵	Ritual and Religious Acts of Athletes
岩永祐樹	School Ritual
岸田裕也	Ritual Communication in the Olympic Ceremonies: The Formation of Solidarity Through Sacred Symbols
小渡果奈	How Luxury Brand Becomes the Sacred Symbol
高井大智	Rituals on the Japanese Television Broadcasting: Pattern and Function of Media Communication
内田夏子	Ethnography of Parade Performance at Disneyland
上田志保	Name Succession of <i>Bunraku</i> as a Ritual Event
上野叶恵	Family Rituals: The Importance of Everyday Practice

Advanced Seminar 2 ② (担当 玉井史絵)

伊東加奈子	What Mari Yamazaki's <i>Thermae Romae</i> Tells People: An Encounter Between Japanese and Ancient Roman Bathing Culture
城ノ口恵奈	How Does <i>Harry Potter</i> Represent British School Culture?
近藤美佳	The Issue of Blood: A Criticism of British Exclusiveness in J.K. Rowling's <i>Harry Potter</i>
村松菜穂	Cultural Representation in SF and Fantasy Movie: George Lucas's <i>Star Wars</i>
中島菜摘	The Representation of Different Cultures in Tchaikovsky's <i>The Nutcracker</i>
柴山 綾	<i>Spirited Away</i> as a Miniature of Japanese Modern Culture
上野葉月	Identity Crisis and Tragedy in a Battlefield: A Study of Steven Spielberg's <i>Saving Private Ryan</i>

Advanced Seminar 2 ③ (担当 吉田優子)

桑原由佳	A Comparative Study: Speech Rhythm in Japanese and English
大川貴弘	Acoustic Analysis of Southern Accent in the United States: Why Do Southerners Seem to Speak More Slowly?
竹本章太郎	Study on Dialects: Focusing on British English and Japanese
村田能里子	Early English Education: Pronunciation
村上卓也	Malaysian English and its Influence on Society and Culture in Malaysia
窪田郁音	History of English in Japan: how did Japanese People Accept English?

菅井 翼	History of Languages in New Zealand: Maori, New Zealand English and Maori English
大西彩香	Coexistence of English and Japanese in Japan
北尾史織	Why Your Lover Can't Understand You
前田 響	Difficulties of Learning Japanese and English: What Education Can Do

Advanced Seminar 2 ④ (担当 長谷部陽一郎)

青木一葉	Metaphorical Expressions Found in Contemporary Japanese Politics: An Analysis of Policy Statements by Prime Ministers
藤田曜大	A Study of Denominal Verbs in English and Japanese from the Cognitive Linguistic Perspective
一井英輝	Comparison of English-speaking Children's Acquisition of Color Terms and Dimensional Adjectives
中村友萌	Japanese Mimesis: Its Relation with Human's Mental and Emotional Characteristics
大櫛直人	The Mechanism of Interpretation on Double Object Construction with Ungrammatical Expressions
山口幸代	Radial Categories and Their Cognitive Background

Advanced Seminar 2 ⑤ (担当 竹田宗継)

荒木かなえ	Problems with Japanese Companies Hiring Outside CEOs
門澤 愛	What Japanese Automobiles Manufacturers Should Do for Their Sustainable Success in the Globalized Society: An Example of Honda in North American Market and Chinese Market
小林里奈	Aging Japanese Society and Customized Tourism for Seniors in the 21 st Century
中野伶香	Decline of Japanese Electronics Manufacturers and the Ways to Revive in the Global Market Place: Comparative Analysis with Samsung
小河原亮	Significances of Non-verbal Communication for Managing Employees in South East Asia
大槻容子	Qualities of a Leader Required for Japanese Global Companies
桜井良太	Significances of Labor-Management Communication in Averting Labor Disputes: Lessons Learned from Maruti Suzuki Labor Strikes
嶋津あすか	Function of Japanese Cultural Traits as an Intermediary in International Business Meetings
清水美那	Why Japanese Total Entrepreneurship Activity is Low?: Making Suggestions for Japan by Learning from Silicon Valley
下山雄也	Relation of Japanese Education Curriculum and Lack of Intercultural Adjustment
谷口 綾	Future Prediction of Globalization of Advertising: Standardization or Cultural Adaptation of TV Commercial & Advertising Agencies
横井菜摘	Improvement of Long Work Hours for the Realization of Work-life Balance in Japan
吉田壮太	How Does Different Nationality Affect the Business Meetings?

Advanced Seminar 2 ⑥ (担当 窪田光男)

- | | |
|------|--|
| 眞田 翼 | Persuasive Communication: The Strategy Hidden Beneath the Bid Presentation for Tokyo As the Venue for the 2020 Olympic Games |
| 千田有沙 | Finding Identity Through Conversation: A Look at the Interactions Between a Japanese and A Native Co-worker |
| 千賀純歌 | How are Young Japanese Using Emoticons in SNS? |
| 相見真衣 | Uncovering Expectations for a Stay-at-Home-Dad |
| 太田知花 | Recipients' Facilitation During the Process of Telling |
| 奥田悠斗 | The Usage of Laugh Marks on Social Network Services and their Effects on Human Relationships |
| 石辺 結 | Honorific Language Used Between a Prime Minister and a Newscaster |
| 藤井咲良 | What is "Love"? Unraveling the Multiplicity of Signified for the Signifier "Love"? |
| 村上裕伸 | Identity and Keisuke Honda: Strategy to Present the Ideal Self-Image as a Top Athlete Through Language |

Advanced Seminar 2 ⑦ (担当 Marie Thorsten)

- | | |
|------|--|
| 皇甫静垠 | The <i>Kyokujitsuki</i> : Questions of Nostalgia and Memory in Japan's Unofficial Flag |
| 藤島啓樹 | Arab Spring and E-democracy: Can Social Media Bring Down and Rebuild Countries? |
| 一見知沙 | The Meaning of Death and Corpses in Media: Distance, Interpretation, and Mystery |

Advanced Seminar 2 ⑧ (担当 寺西隆弘)

- | | |
|-------|--|
| 黒田マリ子 | A Comparative Study of Metaphorical Color Terms Between English and Japanese |
| 森本 祥 | Metaphorical Expression in the Educational Situation |
| 中村莉奈 | Metaphorical Understanding of Colour Terms: Evidence from a Comparative Study Between Japanese and English |
| 白橋沙也子 | Metaphorical Understanding of Sports Terms |
| 杉本有希 | The Usage of Metaphor in Advertising: What Kind of Metaphor Is Used and How Effective It Is |

—中国語コース—

専門演習3 ① (担当 日野みどり)

華井佑実	満州に渡った日本人－満鉄社員と商人の家族の事例をもとに－
橋本明日香	エコツーリズムの現状と今後の展望
東浦雄士	現代中国の住宅保障問題
城塚真衣	岡崎嘉平太から学ぶ日中交流
北本真由	上海市における里弄住宅の再利用・再開発に伴う住民の郊外移転問題
小椎尾優花	中国人の公共倫理の変容－建国から現代までの破壊と再建－
百井貴一	日本軍政下の香港－香港市民はどのような苦しみを味わったのか－
西川夏未	明清期中国におけるキリスト教への反発と受容－現代中国へ通ずる道－
高浜佑季	改革開放以降の新卒中国人学生の就業観

専門演習3 ② (担当 内田尚孝)

秋廣美樹	漢族と新疆ウイグル自治区少数民族の共生－言語教育と宗教政策の観点から－
藤井亜季子	新疆ウイグル自治区にみる現代中国の民族問題
花井香織	五・四新文化運動にみる儒教の近現代的意義
入船友希	華僑・華人のネットワーク構築と世界のチャイナタウンの形成
石井理央	九・一八事変後の中間派知識人による民衆の抗日救国運動への動員（1931-1932） －『申報』と『生活』週刊の分析を中心に－
鍵山裕香	国際問題をめぐる各国世論の形成－微博が変える新聞の役割－
眞鍋愛里	女性就労状況における日中の差異の要因－日中の儒教的観念の変化を通して－
岡野真歩	中国と東アジア共同体－「中国脅威論」緩和にむけて東アジアは共同体をどう構成すべきか－
佐々木華	現代日中経済関係の研究－「相互補完」関係の再構築－
田川裕美子	現代中国における服装の変化－価値観およびライフスタイルの変化を手がかりに－
高田泰秀	歴史教科書と南京事件－日中関係の視点から－
所 稜子	北京オリンピックにみる中国の発展－2020年東京オリンピックに向けて－

専門演習3 ③ (担当 郭雲輝)

村上真央	中国の春節と日本の正月
西本吏香	中国の教育から見る愛国とナショナリズム
岡本祥幸	建築・町並みからみる中国－北京・上海を中心として－
坂下勇佑	台湾における日本文化の影響と日本イメージ
柴原千聖	徐默凡・刘大为《汉语语用趣说》(暨南大学出版社、2011年) 第一章
塩崎拓臣	翟楠・薛晓阳《小学思想品德課程60年(1949－2009)》(江苏大学出版社、2011年) 第一章
貴元梨代	中国流行語(2013年～2011年)について
渡辺 瑤	日中の違いに見る日本人の海外進出
八幡美貴子	严文井主编 寇德璋编写《幼学故事百则》(希望出版社、1987年) から摘訳

専門演習3 ④ (担当 中西裕樹)

- 土井杏子 毛丹青『狂走日本』（上海文化出版社、2012年）の第一章「風情実録」、第二章「文事清流」、第三章「万象人生」から摘訳
- 藤谷阿美子 申小龍『文化語言学論綱』（広西教育出版社、1996年）の第一章「語言的文化世界」（第一節）
- 福岡 豪 劉文斌著『台湾国家認同変遷下の兩岸關係』（問津堂書局、2005年）の第五章「国家認同対兩岸關係的影響」から摘訳
- 曾我有希子 錢乃栄『上海方言』（文匯出版社、2007年）の第六章「上海話使用的社会層次」から摘訳
- 田井乃々華 黄新憲『台湾教育の歴史転型』（上海人民出版社、2010年）の第13章「台湾的国文教育」から摘訳

—日本語コース—

特別演習2 ① (担当 山森良枝)

劉 瀟瀟 (リュウ ショウショウ)

結果複合動詞の日中対照—中国語の日本語と異なる言語現象の原因探究

特別演習2 ② (担当 脇田里子)

崔 琬雅 (チェ ユンア)

消えゆく和語のコミュニケーション問題に関する研究

姜 柔那 (カン ユナ)

日韓オノマトペの対照研究

姜 有那 (カン ユナ)

韓国における日本語受身の教授法に関する研究

金 裕晶 (キム ユジョン)

否定のあいづちの日韓比較

朴 信映 (パク シンヨン)

性別・年齢の役割語の日韓比較

沈 艶華 (チン エンカ)

日中略語の構成に関する研究

袁 鑫 (エン キン)

中国人向けの授受表現の教え方についての研究

特別演習2 ③ (担当 須藤潤)

Devries Pieter (デブリーズ ピーター)

日本人英語学習者の米語の/l/と/r/の聞きわけ

賈 惠 (ジャ フィー)

接続助詞「けど」類と「尻上がり」イントネーションの関係について

刘 玲倩 (リュウ リンチェン)

非近畿方言日本語話者の京阪式アクセントの習得

盧 儀 (ル イ)

中国人日本語学習者における促音の習得についての考察

倪 曉剛 (ニ ギョウゴウ)

中国語の准語を母語とする日本語学習者のナ行とラ行の聞き取り

曾 鍼 (ソ セイ)

中国語話者の日本語の撥音に後接する無声破裂音の弁別について

編集後記

2014 年は世界第一次大戦勃発から 100 周年を迎える節目の年でもありました。今世界はめまぐるしく変化し、私たち一人ひとりが変わることを余儀なくされています。

そんな世界情勢の中にあって今求められているのは、「世界で起きていることを自分なりに理解し、自分の身の回りで起きていることに置き換えて考える」ことだと思います。私たちは、メディアによって報道される出来事の表面だけを見がちです。しかし、どんな物事もひとつの面だけで語れるものではありません。そんな複雑な世界を、自分の目で見てあらゆる視点で物事を考えることの大切さを教えてくれたのが、本学部の最大の特徴である SA 体験です。留学で現地に行って、直に触れて、はじめて気づくことがあります。

私がグローバル・コミュニケーション学部で過ごした 4 年間は、本誌 *Cosmos* の編集活動とともにありました。学部の魅力や中身をひとりでも多くの人に知ってもらいたいという一心からスタートした *Cosmos* のプロジェクトは、年々その中身を変えて、異文化を知る足がかりとなるような媒体へと変化してきています。私自身、本誌の編集活動を通して学んだことや気づかされたことがたくさんありました。本誌を手にとった皆様にとっても、新しい気づきへ一歩となることができれば幸いです。

中国語コース 4 回生 鍵山 裕香

2014 年度 *Cosmos* 編集委員会

- 英語コース 4 回生 門澤 愛、大川 貴弘、菅井 翼
 3 回生 廣江 華蓮、河上 晴香、大附 加奈、佐藤 里奈、山元 恵梨奈
 1 回生 土居原 優希、金光 夏愛、岡田 笑佳、利 百仁花
- 中国語コース 4 回生 鍵山 裕香
 1 回生 廣山 夏帆、鎌田 峻介、国重 浩希、松田 大輔、水野 有袈、
 村瀬 令奈、萩山 るりか、岡浦 愛、須田 詩、和田 健太郎、
 渡辺 将也
- 日本語コース 3 回生 車 恩美、金 雲喬、刘 梦、王 媛媛、周 林京
 2 回生 ト 可含、朴 書慧、張 若文
 1 回生 金 ナリン

グローバル・コミュニケーション学会

運営編集委員会・役員会

中村 久男、南井 正廣、Paul Carty、中西 裕樹、Bettina Gildenhard、脇田 里子、
楊 華、伊勢 晃

Cosmos 第4号

2015年3月15日発行

発行 同志社大学グローバル・コミュニケーション学会
〒610-0394 京田辺市多々羅都谷1-3
同志社大学グローバル・コミュニケーション学部内
Tel (0774) 65-7491 Fax (0774) 65-7069

編集 2014年度 *Cosmos* 編集委員会
グローバル・コミュニケーション学会 運営編集委員会

印刷 株式会社あおぞら印刷
〒604-8431 京都市中京区西ノ京原町15

